

## 14 建物跡3

## 第2号掘立柱建物跡—S B 204（第76図）

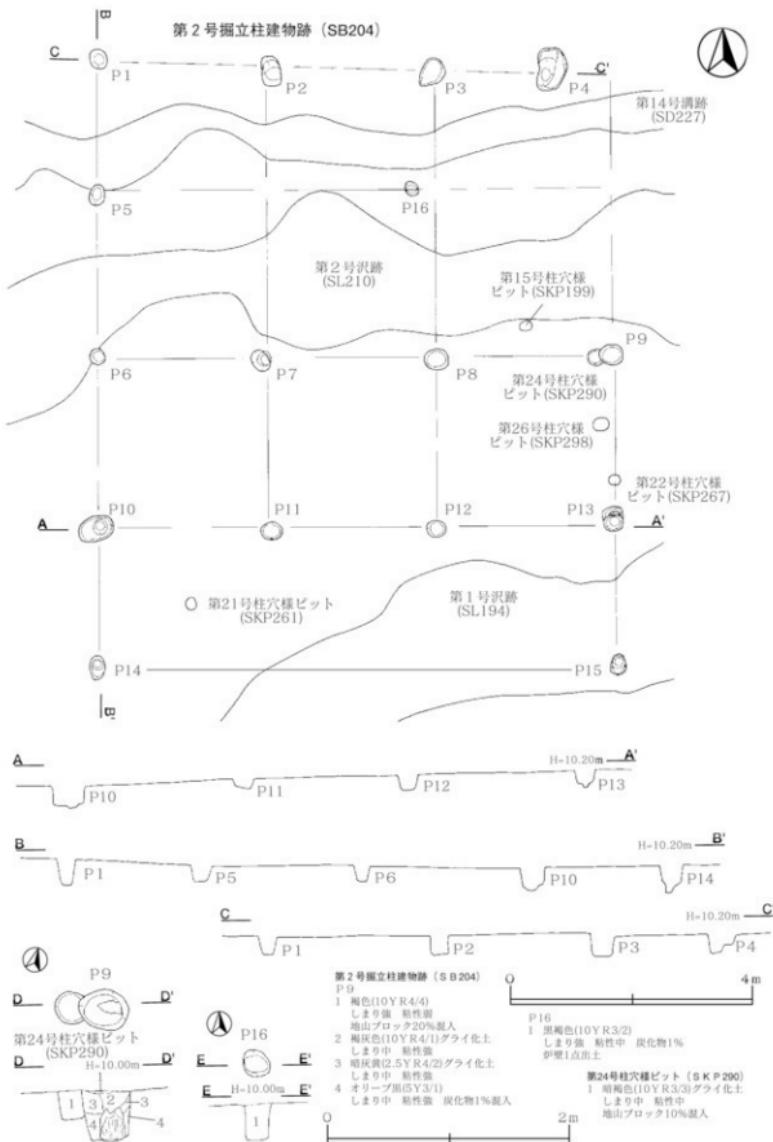
調査区西側の北側と南側を丘陵斜面で挟まれた平坦地である、M 145・46・47、M J・MK45・46・47・48グリッドで見つかった。発掘調査時は、第1号沢跡（S L194）と第2号沢跡（S L210）に挟まれた平坦地における東西方向を桁行とした1間×3間の掘立柱建物跡として確認したが、整理作業時に北・南側に下屋が付く2間×3間の掘立柱建物跡と判断した。P9は第24号柱穴様ビット（SK P290）より新しく、P15と第1号沢跡（S L194）との新旧関係は不明である。遺物は铸造関連遺物が出土した。

身舎は径0.24～0.40mの柱穴が、梁行方向に2.78～2.80m、桁行方向に2.76～2.94mの間隔で配され、梁行総間5.58m、桁行総間8.52mの規模である。見つかからなかつた柱穴もあるが、総柱式掘立柱建物跡と思われる。下屋は、身舎から2.2m張り出した位置にあり、北側下屋は東端の柱間が1.96mと狭いほか、身舎の桁行柱間と同一間隔で並んでいる。南側下屋は東西端の柱穴のみ見つかった。

P4・9・14は地山層、P15は第1号沢跡（S L194）底面で見つかったが、それ以外の柱穴は全てII c層で確認したので、本遺構の柱穴は本来II c層中又はII c層上面から掘り込まれたものと推測される。第1号沢跡（S L194）、第2号沢跡（S L210）、第14号溝跡（SD 227）と重複しているが、本遺構は、同時期に存在したとは考えにくく、これらの遺構が埋没した後で構築されたものと思われる。

第24表 第2号掘立柱建物跡 計測一覧表及び各遺物の重量と構成比

	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	底面型 高(m)	土層注記		重さ (g)	構成比 (%)	
P1	0.34	0.30	0.44	9.62	1 黒褐色 (10Y R3/2) しまり強 粘性中 反応物3% 地山ブロック1%混入				
P2	0.50	0.32	0.40	9.53	1 茶褐色 (10Y R3/3) しまり強 粘性中 反応物20% 地上ブロック1% 地山ブロック2%混入				
P3	0.52	0.40	0.41	9.55	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり中 粘性強 反応物3% 地山ブロック3%混入				
P4	0.64	0.42	0.41	9.61	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり強 粘性中 反応物10% 地山ブロック1%混入				
P5	0.37	0.26	0.28	9.64	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり強 粘性強 反応物3% 地山ブロック3%混入				
P6	0.26	0.26	0.28	9.64	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり中 粘性強 反応物3% 地山ブロック3%混入				
P7	0.38	0.28	0.40	9.88	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり強 粘性中 反応物2% 地上ブロック1% 地山ブロック3%混入				
P8	0.44	0.36	0.32	9.88	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり強 粘性中 反応物2% 地上ブロック1% 地山ブロック3%混入				
P9	0.40	0.36	0.43	9.37	1 黄褐色 (10Y R4/4) しまり強 粘性強 地山ブロック20%混入 2 褐色 (10Y R4/4) グラフィテ しまり中 粘性強 3 茶褐色 (2.5Y R4/2) グラフィテ しまり中 粘性強 4 オーブソン (5Y 3/1) しまり中 粘性強 反応物1%混入				
P10	0.24	0.22	0.36	9.54	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり強 粘性中 反応物1% 地上ブロック1%未満 地山ブロック3%混入				
P11	0.38	0.30	0.16	9.80	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり強 粘性中 反応物2% 地上ブロック1% 地山ブロック3%混入				
P12	0.34	0.28	0.24	9.78	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり強 粘性中 反応物2% 地上ブロック1% 地山ブロック3%混入				
P13	0.33	0.26	0.26	9.80	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり強 粘性中 反応物2% 地山ブロック2% 下部灰褐色土層状に混入				
P14	0.42	0.28	0.43	9.42	1 茶褐色 (10Y R3/4) しまり強 粘性中 地山ブロック3%混入				
P15	0.34	0.24	0.47	9.60	1 灰黄褐色 (10Y R4/2) しまり中 粘性中 反応物10% 地上ブロック3% 地山ブロック3%混入				



第76図 第2号掘立柱建物跡 (SB204)

### 第3節 遺構外出土遺物

#### 1 須恵器、中世陶磁器（第77・78図、図版41・42）

須恵器は2点出土しており、第2号排溝場の下層であるMD46グリッドの木材層とMH50グリッドIIc層から見つかった。中世の陶磁器は主に調査区西側の沖積平坦地であるMH～MM45～48グリッドに集中して見つかり、全て12世紀後半から13世紀頃のもので、北側にある建物跡2に由来する可能性がある。ここに掲載したものが全てである。

- 1はクロコ成形による高台付きの須恵器瓶である。外面及び底面には薄く自然釉がみとめられる。
- 2は内面に当て具痕、外面にタタキ目が見られる須恵器甕の体部である。
- 3は全面が摩滅しており詳細は不明であるが、器形は皿状を呈するものと思われる。周辺の陶磁器群と時期は同じと思われることから、かわらけの可能性がある。
- 4は遺跡で出土した唯一の白磁で、12世紀末ころのものと思われる。6～9は13世紀中頃の龍泉窯産の青磁碗である。そのうち、6～8は外面に蓮弁文が見られ、9は高台がついている。
- 10～14は珠洲系陶器の擂鉢で、11～13は幅2.6cm程度の鉢目が認められる。これらは同一個体の可能性がある。
- 15～17は蓋の一部である。15は瓦質で孔があいている。16・17はつまみ部が欠損した蓋で、土師質である。

#### 2 木製品（第79～81図）

遺構外として採りあげた木製品は大きく分けて食器、形代？、杭、板材、柱材、屋根板等が出土した。木製品の出土は木材層とした調査区中央部の最下層に集中する。この区域では板材や杭などの資材類が多く出土し、食器などの生活用品はわずかに3点であった。この木製品集中区域は生活に関連するものというよりも、作業的な性格の方が強いように見受けられる。梵鐘や鑼の木型等、鑄造関連遺物であるといえる木製品は出土しなかった。

ここで採りあげた木製品24点のうち22点は調査区中央部のLT～MC・45～47グリッドの木材層から出土したものである。

- 1は内外面に漆が塗られた椀である。2は頭部が四角い杓子である。3～6は丸みを帯びた曲線で形取られた平面形の木製品で、鳥形などの形代の可能性があるが詳細は不明である。7は曲物の底板の一部と思われる。8～13は丸い断面形の棒を削って尖らせた棒状杭、14・15は四角い断面形の角材の先端を削って尖らせた杭である。16～22は板状木製品であるが、16・17は資材としての板材で、19～22は小さく孔があいているもの（19～21）や、とても薄い板（22）であることから生活用具の可能性が示唆される。

23はかみ合わせ部をもつ柱、井戸枠などに使用された可能性がある。  
24は屋根板と思われ、屋根板を互につなぐ四角い孔が見られる。表面の黒い面は外側であったと思われる。

### 3 鋳造、製鉄、鍛冶関連遺物の出土分布（第82～93図）

鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物は、遺構内で出土した遺物を除いて第82～93図の遺物出土分布図で出土状況を表した。この分布図全体を読み取ると、主に調査区中央部に集中する遺物群と調査区東側に集中する遺物群に分けることが出来る。調査区中央部の遺物群は第2号排溝場（S T 65・69・70）、調査区東側の遺物群は鍛冶炉（SN51）、炉状遺構（SS38）に由来する可能性が高い。それぞれの遺物群からは鋳造関連遺物、製鉄関連遺物、鍛冶関連遺物の3種類が1組にまとまって出土しており、これらの周辺で3つの生産作業が行われた可能性が示唆される。各遺物の出土分布は以下のとおりである。

#### 鋳造関連遺物の分布

##### (1) 炉壁（溶解炉）及び炉壁炉底（溶解炉）

遺跡全体から出土している。特に多く出土する区域はMD・ME・MF47グリッドを中心とした区域と、LP53・54グリッドの2か所である。

##### (2) 大口径羽口（溶解炉）

遺跡全体から出土している。特に多く出土する区域は、MB～MF48～44グリッドとLP53グリッド周辺である。MD46グリッドからは最も多く出土した。

##### (3) 鑄型

出土集中地区は、調査区北東端、調査区東側、調査区中央部の3か所である。各区域の最も多く出土したグリッドは調査区北東端ではLN56グリッド、調査区東側ではLP53グリッド、調査区中央部ではME45グリッドである。しかし、調査区中央部の集中出土区域は1か所であるとは言えず、排溝場のほか、鋳造関連遺構周辺や建物跡1周辺、沢跡周辺などの範囲で広く出土している。

##### (4) 鋳造道具（三叉状土製品、コンニャク、取瓶、坩堝）

鋳造関連遺構、第2号排溝場から第1号沢跡にかけて出土範囲が広がっている。最も多く出土したのはMB46グリッドで、この周辺の出土はコンニャクが多くを占める。

##### (5) 被熱粘土塊

ME・MF47・48グリッドを中心とし、調査区中央部で広く分布し、沢跡に沿って西側に出土範囲が延びている。調査区東側でLQ52グリッド周辺で少量出土した。

##### (6) 炉底塊

調査区中央南側のMA48グリッドで最も出土量が多い。出土範囲はこの第2号排溝場の東側を中心とするものである。

##### (7) 炉内滓（溶解炉）

遺跡全体から出土した。特に調査区中央部のME・MF47グリッド周辺に多く出土している。

##### (8) ガラス質滓（溶解炉）・白色滓（溶解炉）

遺跡全体から出土した。特に調査区中央部のMD・ME・MF47グリッド周辺に集中する。

##### (9) 補助剤（珪化木・石灰石・半溶解石）

出土範囲は調査区中央部に分布するグループと調査区東側に分布するグループが認められる。出土量が多い中央部では鋳造関連遺構から第2号排溝場にかけて分布し、MF47グリッドが最も多い。東側はLQ51グリッドで最も多く出土しており、その範囲は10グリッドにまたがっている。

### 製鉄関連遺物の分布

#### (10) 炉壁

製鉄炉炉壁は調査区全域から出土しているが、これも LS グリッドラインを境として調査区中央と調査区東側のグループに分かれる。調査区中央部では MD47 グリッド周辺の密度が濃くなっているが、出土量が最も多いのは MA47 グリッドで、第2号排溝場の東側に出土地点の中心を持つと思われる。

調査区西側では目立つ遺物集中地点は見られないが、広く分布している。これは排溝場から西へ下る沢地の影響が大きいと考える。

#### (11) 大口径羽口、中口径羽口、羽口

調査区中央部、東側、北東端の各区域において出土単位が認められる。調査区中央部の広がりは第2号排溝場を中心とし、その東側に当たる MA50 グリッドで最も多く出土した。調査区東側の分布は鍛冶炉や炉状遺構見られる LQ51 グリッド周辺である。調査区北東端の分布は LO56 グリッド周辺で、第4号排溝場に由来するものと思われる。

#### (12) 流動溝、炉内流動溝、流出孔溝、炉外流出溝

調査区全域で出土したが、特に第2号排溝場の東側である MB・MC46・47・48 グリッドに集中する。

#### (13) 炉内溝、マグネタイト系遺物

調査区全域で出土したが、第2号排溝場周辺の調査区中央部と LP52 グリッドに遺物が集中している。調査区中央部の集中は MA48 グリッドと、MD・ME47 グリッド周辺が最も多く出土している。

### 鍛冶関連遺物の分布

#### (14) 梭形鍛治溝、鍛治溝

鍛冶炉の位置 LQ51 グリッドと調査区中央部の MC46・47 グリッドに最も集中する。

#### (15) 鉄床石、羽口（鍛冶）

梭形鍛治溝・鍛治溝と出土地点が似ており、調査区中央部の MC48・49 グリッド、鍛冶炉周辺の LQ50 グリッドで最も多く出土した。

### その他の関連遺物の分布

#### (16) 砂鉄焼結塊

他の製鉄関連遺物と同様に、調査区中央部と調査区東側に集中区域が認められる。調査区中央部では MC48 グリッド、MF47 グリッドで最も遺物が出土している。調査区東側では LP52 グリッドのみで出土が確認された。

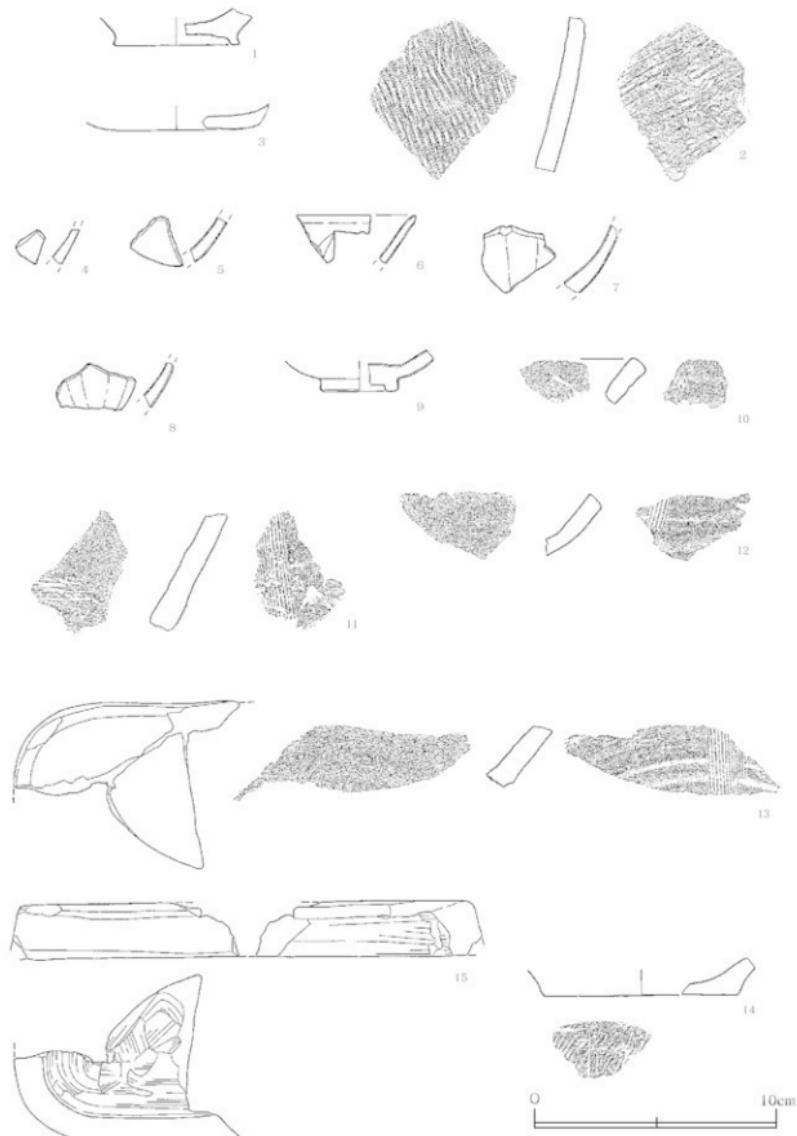
#### (17) 再結合溝

調査区中央部、調査区東側、調査区北東端で出土している。調査区中央部では第2号排溝場付近の ME47・48 グリッド周辺で多く出土した。

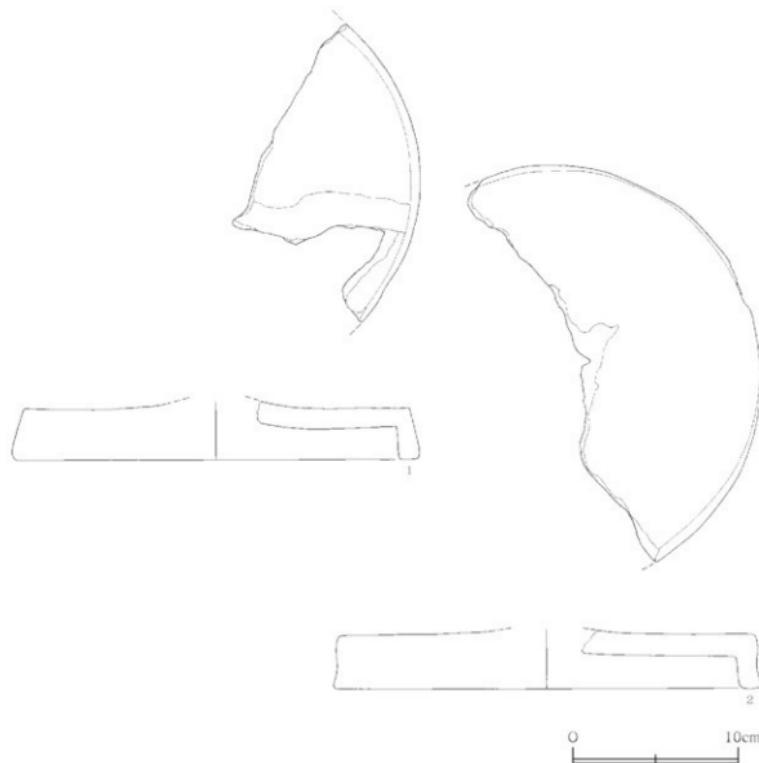
#### (18) 残溝

遺跡全体から出土している。特に第2号排溝場周辺で多く出土しており、中でも MD47 グリッドの出土が最も多い。





第77図 遺構外出土陶磁器（1）

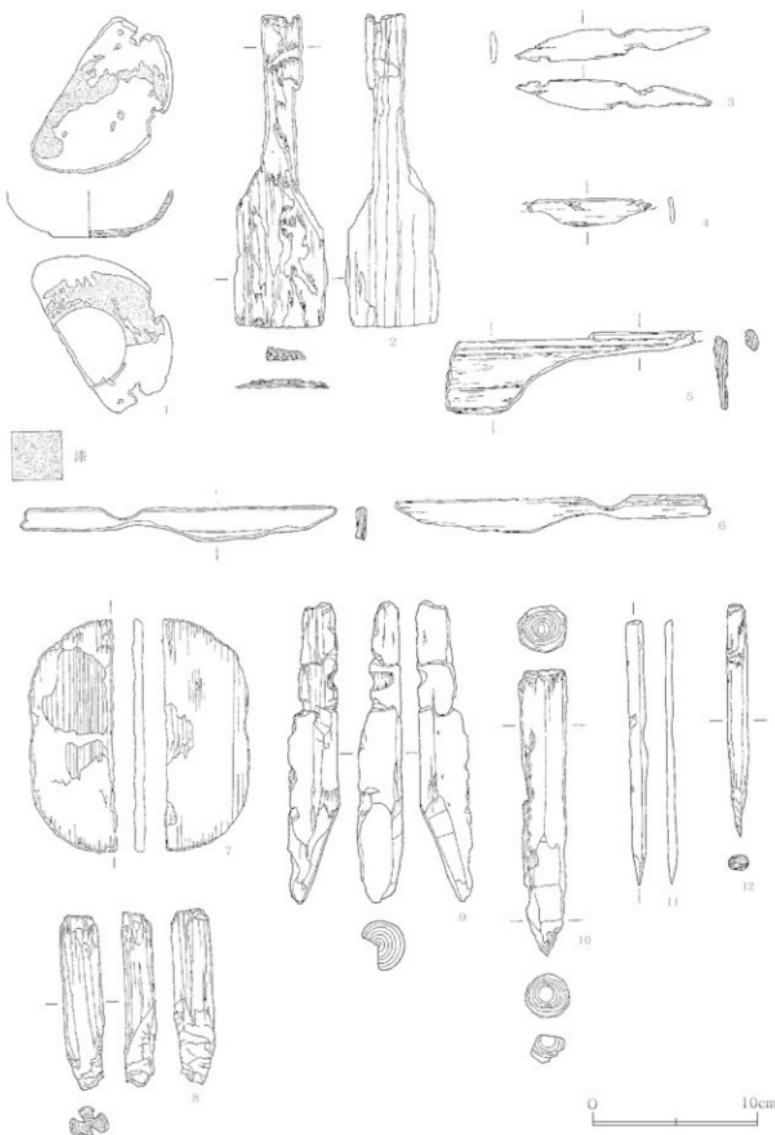


第78図 遺構外出土陶磁器（2）

第26表 遺構外出土陶磁器一覧表

( )は推定値

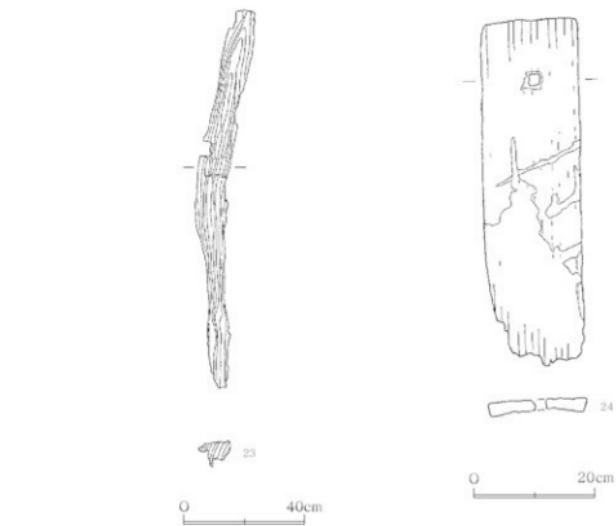
件名番号	回収番号	出土位置	種別	形態	品種	口径×高さ×底径	表面質感等		外底部	備考
							内面	外面		
第14図1	回収41	MD46 木村耕	須恵器	壺	原色	—×—×(2.7)	内面：クロコ成形	外面：自然釉	高台	表面に自然釉
第14図2	回収41	MH59 木村耕	須恵器	壺	原色	—×—×—	内面：タッキメ 内面：当穴具組	—	—	—
第14図3	回収41	MH42 風丸	須恵器	壺	原色	—×—×(10.2)	—	—	厚底	—
第14図4	回収41	ML47 II c 剣	白磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	12世紀末
第14図5	回収41	ML47 II b 剣	青磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	12世紀後半 雜多器
第14図6	回収41	ML46	青磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	—
第14図7	回収41	ML48	青磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	—
第14図8	回収41	MK42 II c 剣	青磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	13世紀中期 雜多器
第14図9	回収41	MJ45 II c 剣	青磁	壺	原色	—×—×—	—	—	—	13世紀中期 雜多器
第14図10	回収41	MK45 II c 剣	須恵器	壺	原色	—×—×—	—	—	—	—
第14図11	MD46 I 剣	須恵器	壺	体部	—×—×—	内面：クロコ 縦2.6cm程度の 凹凸 丸み 口部：自然釉	—	—	—	—
第14図12	ML48 II c 剑	須恵器	壺	体部	—×—×—	内面：クロコ 縦2.6cm程度の 凹凸 丸み 口部：自然釉	—	—	—	—
第14図13	M 148 II c 剣	須恵器	壺	体部	—×—×—	内面：クロコ 縦2.6cm程度の 凹凸 外面：クロコ	—	—	—	—
第14図14	M 147 II c 剑	須恵器	壺	底部	—×—×(16.2)	内面：壁底 外面：クロコ成形	内面：底切り	—	—	—
第14図15	回収42	M 146 II c 剑	瓦質	蓋	体部	—×3.4×—	内面：ナデ	—	丸あり	—
第15図16	回収42	MM46 II c 剑	瓦質	蓋	体部	—×—×(24.6)	内面：ナデ	—	つまみ部欠損	—
第15図17	回収42	MM41 風丸	瓦質	蓋	体部	—×—×(26.4)	内面：ナデ	—	つまみ部欠損	—



第79図 遺構外出土木製品（1）



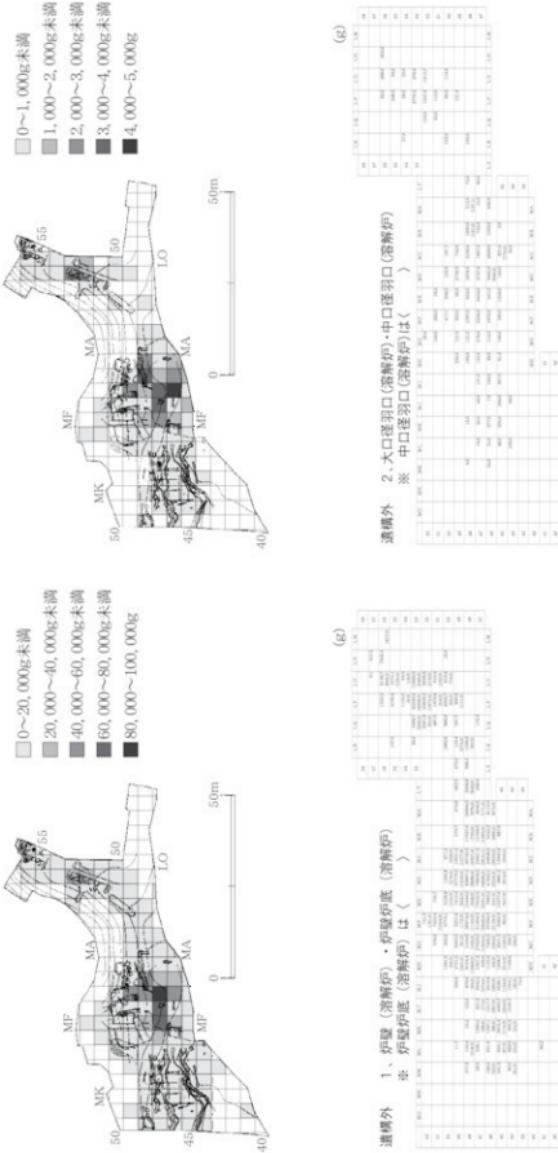
第80図 遺構外出土木製品（2）



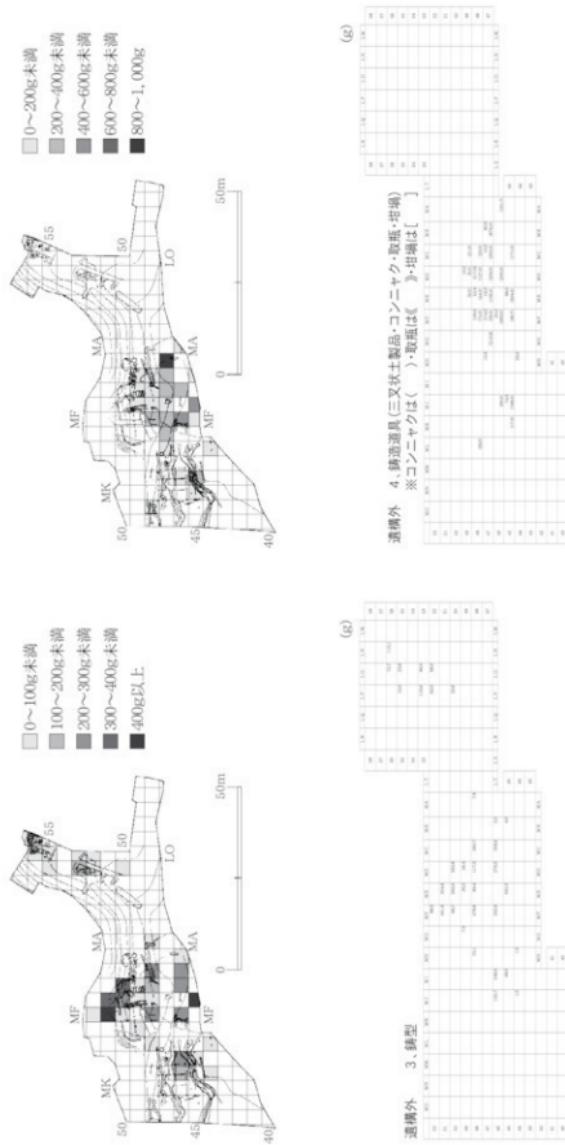
第80図 遺構外出土木製品（3）

第27表 遺構外出土木製品一覧表

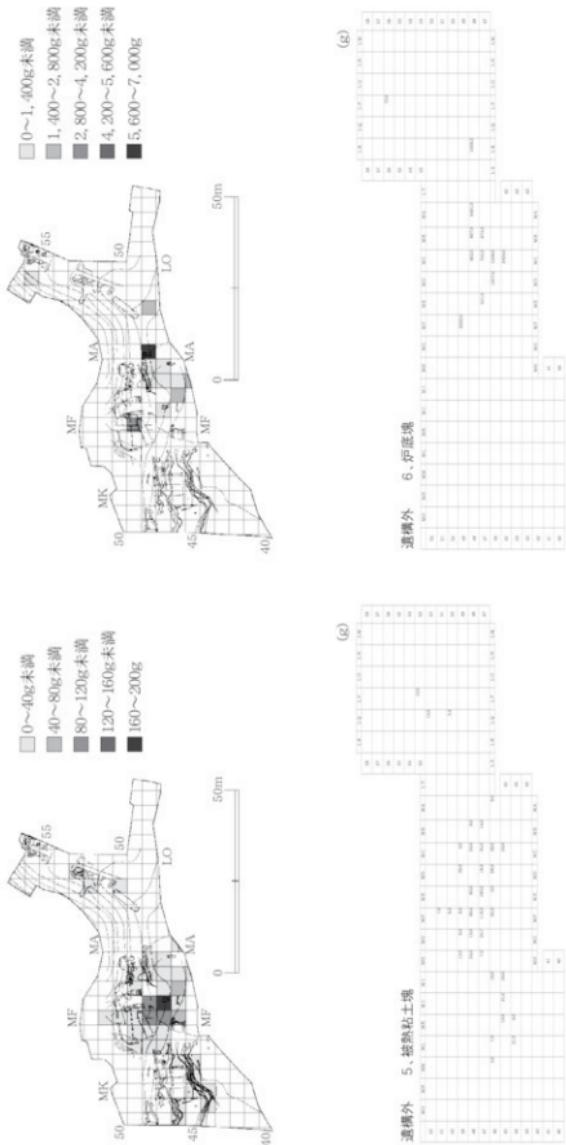
	出土位置	出土層位	遺物名	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
第79図1	MB47	木材層	漆器椀	13.6(口径)	6.2(底径)	3.8(器高)	黒漆塗り
第79図2	MB47	IIe	杓子	25.6	7.7	1.1	
第79図3	MC46	木材層	形代?	16.2	2.6	0.5	
第79図4	MC47	木材層	形代?	10.4	2.2	0.5	
第79図5	MC45	木材層	鳥形?	27.5	6.5	1.1	
第79図6	MC45	木材層	鳥形?	26.2	2.7	0.8	
第79図7	MF46	木材層	曲物底板	19.0	7.0	1.0	
第79図8	MA47	木材層	棒状杭	14.4	3.3	2.8	
第79図9	MD46	木材層	棒状杭	24.6	4.3	3.7	
第79図10	MC47	木材層	棒状杭	23.5	4.0	3.7	
第79図11	MC46	木材層	棒状杭	21.7	1.6	0.8	
第79図12	MA46	木材層	棒状杭	19.0	2.7	1.3	
第80図13	LT47	IIe	棒状杭	46.0	2.1	1.75	
第80図14	MC46	木材層	杭	38.7	5.2	4.0	
第80図15	MC46	木材層	杭	30.3	5.9	4.5	
第80図16	MC45	木材層	板状木製品	57.7	4.3	1.0	
第80図17	MC45	木材層	板状木製品	43.5	6.1	1.2	
第80図18	MB46	木材層	板状木製品	24.0	1.7	0.8	
第80図19	MC46	木材層	板状木製品	26.3	2.7	0.8	
第80図20	MB47	木材層	板状木製品	16.1	5.3	1.1	孔あき
第80図21	MB47	木材層	板状木製品	6.9	1.8	0.6	孔あき
第80図22	MC47	木材層	板状木製品	16.4	6.4	0.5	
第81図23	調査区西側表採		柱	124.0	11.2	5.6	本組み部あり
第81図24	調査区西側表採		屋根板	56.6	16.2	2.2	焦げ付き



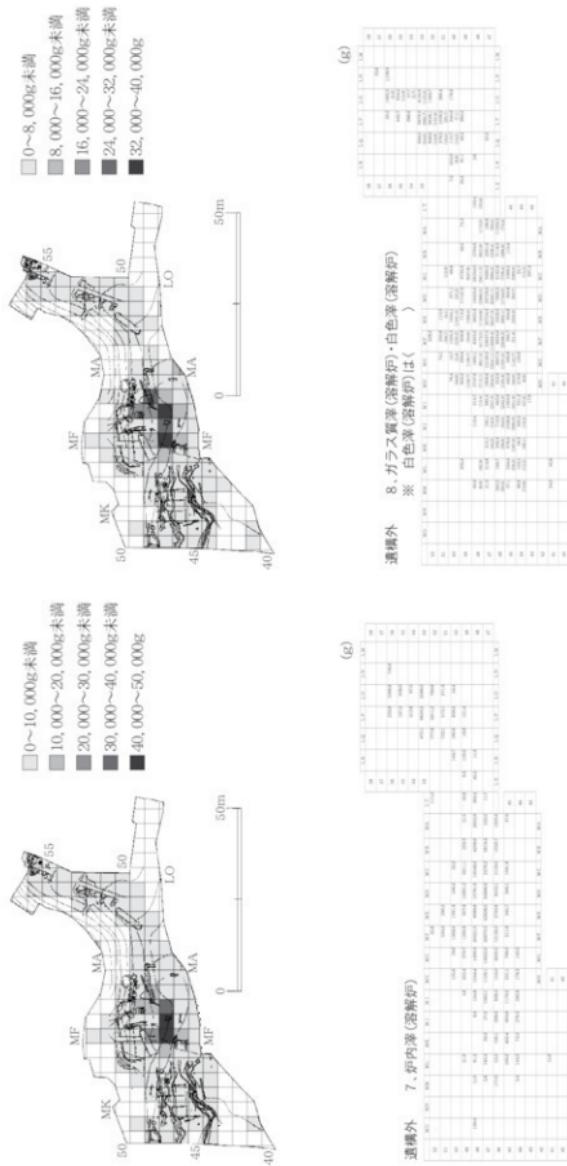
第82図 遺構外遺物出土分布図（1）



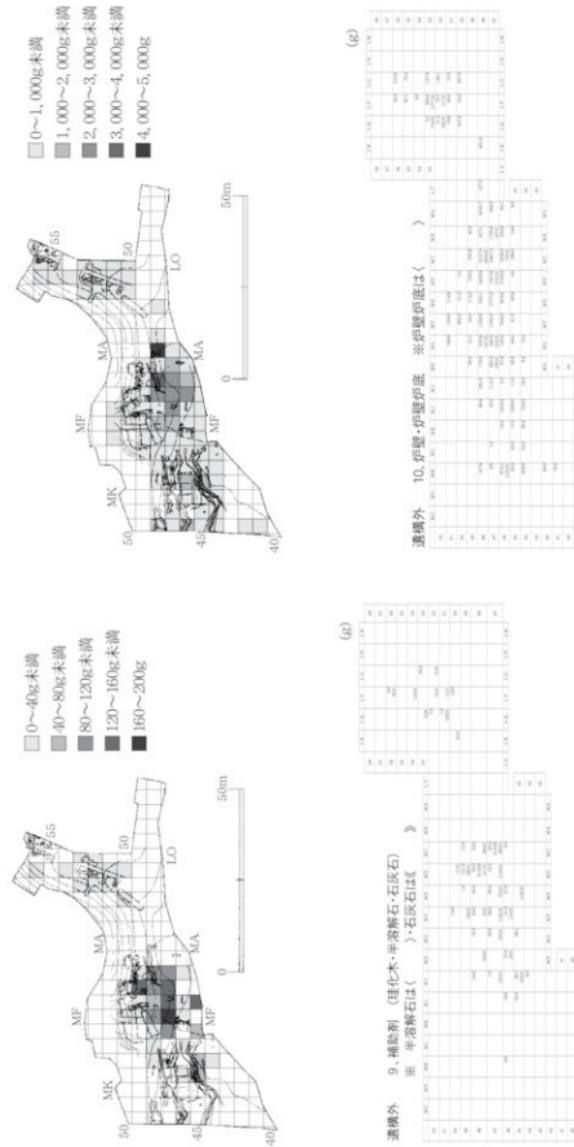
第83図 遺構外遺物出土分布図（2）

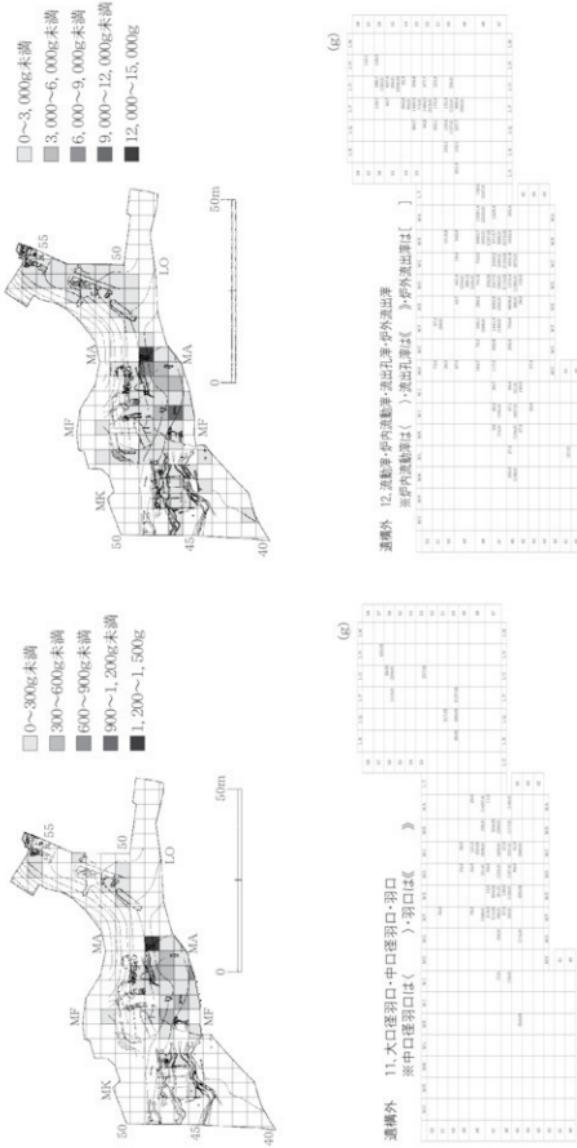


第84図 遺構外遺物出土分布図（3）

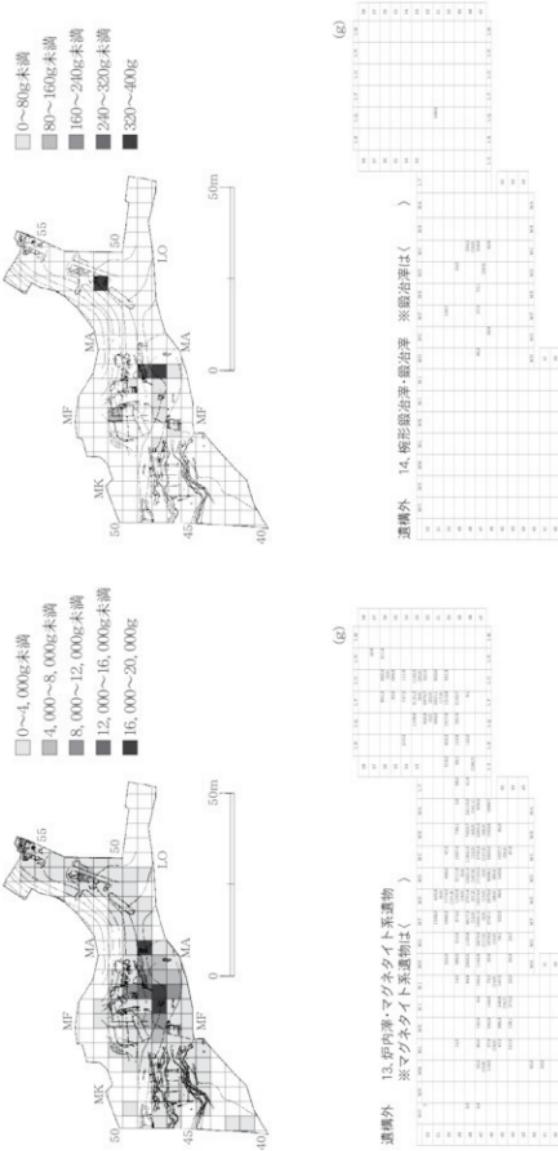


第85図 遺構外遺物出土分布図（4）

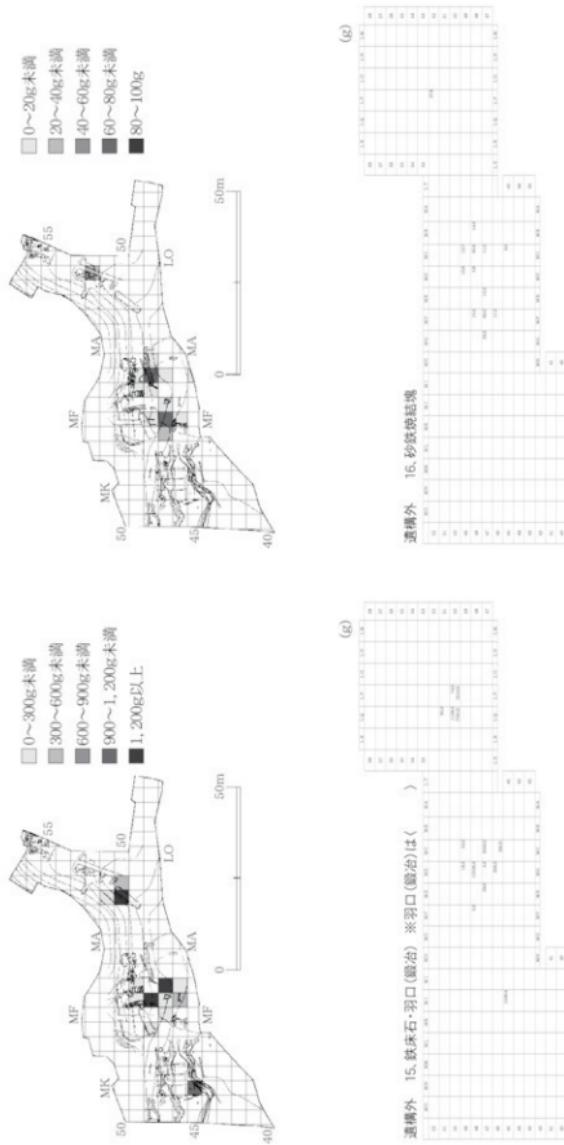




第87図 遺構外遺物出土分布図（6）



第88図 遺構外遺物出土分布図（7）



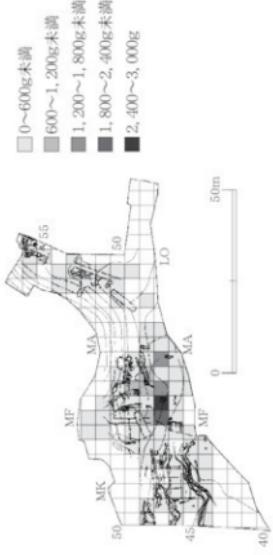
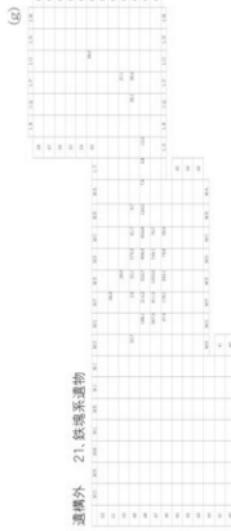
第89図 遺構外遺物出土分布図（8）



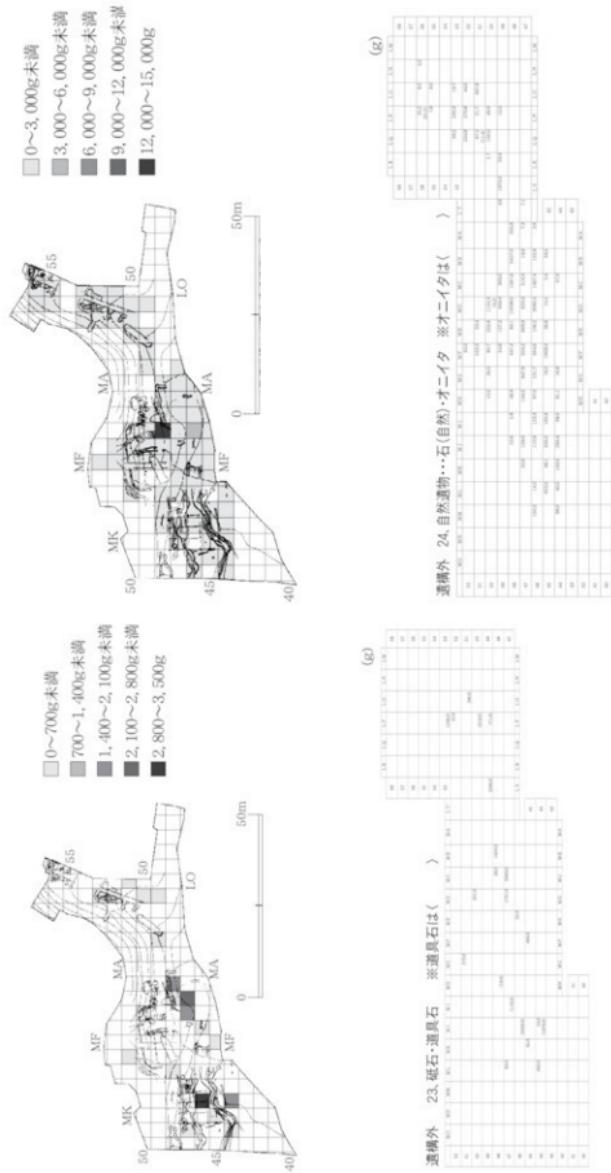
第90図 遺構外遺物出土分布図（9）



第91図 遺構外遺物出土分布図 (10)



第92図 遺構外遺物出土分布図（11）



第93図 遺構外遺物出土分布図（12）

## 第5章 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物

### 第1節 出土遺物

ここでとりあげる鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物は、出土遺構や区域のなかで各種の代表的な遺物を選択している。その出土遺物の一覧は、鋳造・製鉄鍛冶関連遺物構成図（第94～110図）で示し、各遺物の詳細は第111～228図の遺物実測図と第27表の鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物一般観察表で示した。以下に記述したものはその一般観察表の項目の解説である。

#### 第27表 鋳造及び製鉄関連遺物一般観察表の項目

- ①構成No：遺物番号のことと、鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図（第94～110図）と対応する。
- ②遺物名：遺物名は単に名前を表すだけでなく、その特徴も表すようにした。
- ③計測値：遺物の大きさを表すものである。計測位置は巻頭の凡例において示している。
- ④重さ：g（グラム）単位で計測した。
- ⑤磁着度：製鉄遺跡から多量に出土する各種の鉄滓や鉄塊系遺物を効率的に分類・判別し、遺跡間の情報を共通化するために提唱された分類基準である。特定の標準磁石を用い、35cmの高さから糸で吊り下げた状態で使用する。資料を順次接近させることにより、糸で吊り下げた標準磁石が動き始める距離単位（6mmを1単位とする）を6mmの同心円を描いた評価台紙上で読み取り、数値化された遺物の評価をする方法である。同心円の中心に最も近い円から1、2、3、4、5・・・とランクづけしている。
- ⑥メタル度：発掘された滓中や鉄塊系遺物中に遺存する金属鉄を量の面で評価し、ランキングする基準である。特殊な整準をした小型の埋蔵文化財用の特殊金属探知機を用いて計測する。  
H（○）、M（◎）、L（●）、特L（☆）の段階で金属部が大きいことを示し、また過去に金属の鉄が内包されていた資料でも、すでに錆びてしまったものは錆化（△）で表示している。
- ※特殊金属探知機・・・各種の鉄関連遺物が多量に出土する製鉄・鍛冶・鋳造などの生産遺跡や、その他の様々な遺跡から出土する遺物の中から、現在、金属が残されている個体の選別や管理、分析などの目的で、金属の量とその位置を簡単に特定出来るように整順した簡易装置である。メタルチェックともいう。
- ⑦備考：上記以外の詳細な説明

		某鍛跡遺構 (SK83)											
		鉄型外観 （鋸解剖）					鉄型外観・人型品 （鋸解剖）						
		上段 上半	中段 下半	下段 下半	鋸解剖 （鋸解剖）	人型外観 （鋸解剖）	鉄型外観 （鋸解剖）	人型外観 （鋸解剖）	鉄型外観 （鋸解剖）	人型外観 （鋸解剖）	鉄型外観 （鋸解剖）	鉄型外観 （鋸解剖）	鉄型外観 （鋸解剖）
上段 上半	鋸解												
上段 上半	鋸溶												
中段 下半	鋸溶												
中段 下半	鋸溶												
下段 下半	鋸溶												
分析													

第9図 鋸造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (1)

第1号製鉄炉 (SS 8)		第1号製鉄炉 (SS 9)		第1号製鉄炉 (SS 10)	
砂内鉢 溶解炉(合形) 鉄化(△)	白色-青 溶解炉(合形) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (合形) 鉄化(△)	鉄質品 (合形) 鉄化(△)
再結合炉 (鉄造品)	再結合炉 (鉄造品)	再結合炉 (鉄造品) 鉄化(△)	再結合炉 (鉄造品) 鉄化(△)	再結合炉 (鉄造品) 鉄化(△)	再結合炉 (鉄造品) 鉄化(△)
溶解炉 (鉄造品) 鉄化(△)	溶解炉 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)	鉄質品 (鉄造品) 鉄化(△)
分析 1		1		1	

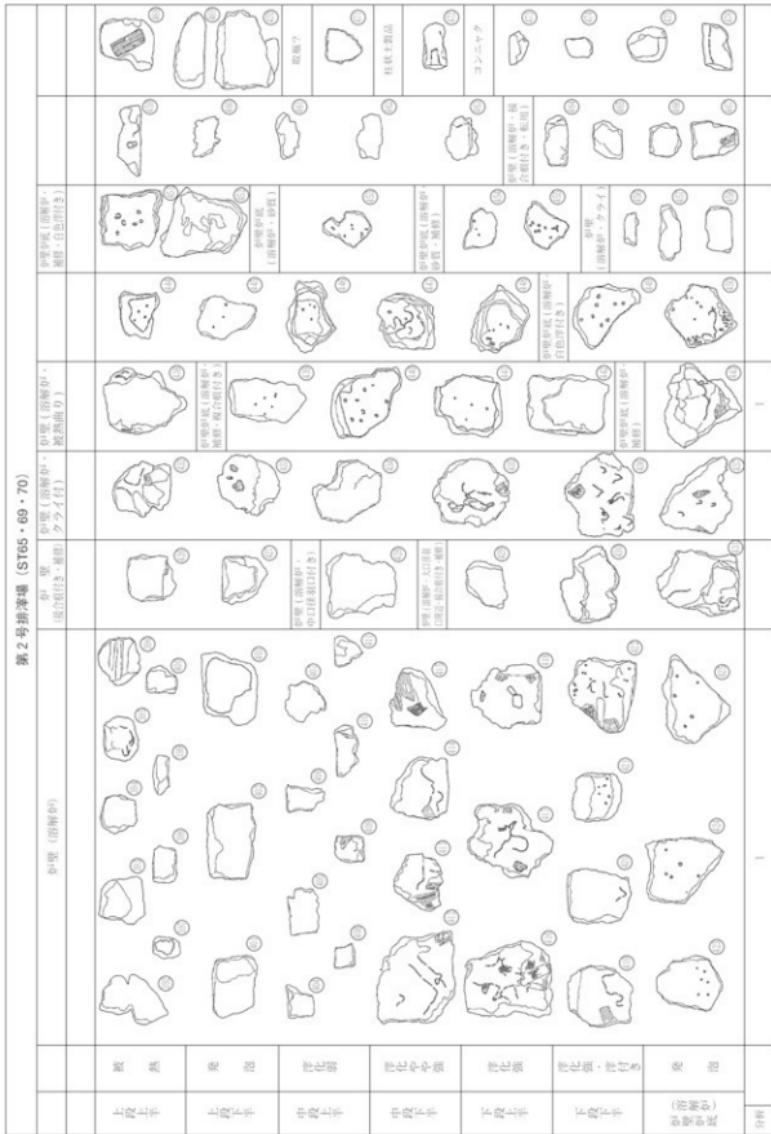
第95図 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (2)

		第1号坑・漆塗器 (ST148)											
		漆器(漆解物)			漆器(漆解物)・漆削			漆器(漆解物)			漆器(漆解物)		
		漆器	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)	漆器(漆解物)
上段	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
上段	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
中段	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
中段	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
下段	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
合計													

第96図 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図（3）

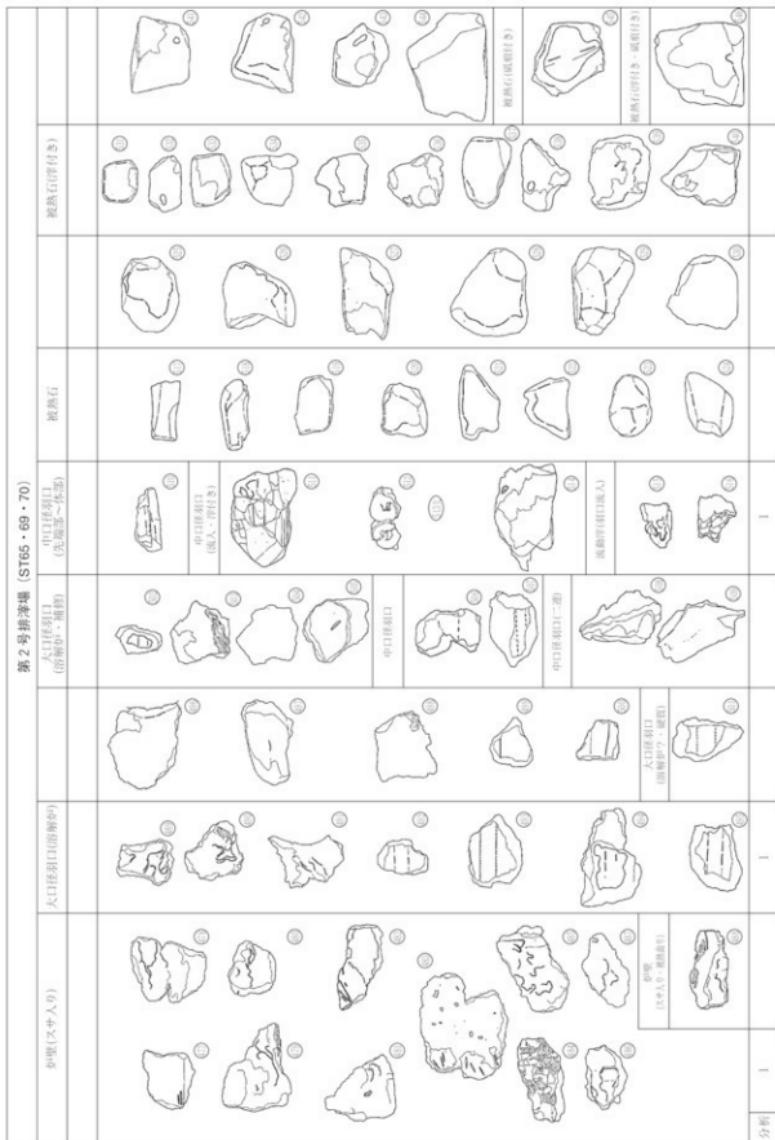


第2号排煙場 (ST65・69・70)



第98圖 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (5)

第2号排溝場 (ST65・69・70)



第99図 錫造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (6)



第101回 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (8)





第2種柱列 (SA40)	第1号掌握窓 (SW1)	第3号掌握窓 (SW3)	第7号掌握窓 (SW45)	カラムトレイ置場 (SN5)	第7号掌握窓 (SK44)
炉壁(分解物) 残石(焼付)	炉壁(分解物) 残熱石 (分解物)	木炭 (分解物)	炉壁(分解物) 残石(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
新3号柱列 (SA41)	炉壁(分解物) 残熱石、白色粘土 残石(焼付)	木炭	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 残熱石、白色粘土 残石(焼付)	木炭	灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 残熱石、白色粘土 残石(焼付)	木炭	灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
M(O)	木炭	灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
			炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 残石(焼付)
第2号掌握窓 (SW2)	第4号掌握窓 (SW4)	第5号掌握窓 (SK42)	第7号掌握窓 (SK44)	カラムトレイ置場 (SN5)	第7号掌握窓 (SK44)
炉壁(分解物) 残石(焼付)	木炭	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
残石(焼付)	木炭	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
残石(焼付)	木炭	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
残石(焼付)	木炭	炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
			炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
排水溝 (SK27)		SB 162 P3		カラムトレイ置場 (SN5)	カラムトレイ置場 (SK44)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)
炉壁(分解物) 灰(分解物)		炉壁(分解物) 灰(分解物)	炉壁(分解物) 灰(分解物)	木炭	炉壁(分解物) 残石(焼付)

第104図 鋼造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (11)

第2号坑 (SD34)	第7号坑 (SD30) 第8号坑 (SD30)				第1号坑 (SL194)				第2号坑 (SL210)
砂内型 (溶解部)	小型 (溶解部·底面) 中口直鉢口	白色 (溶解部)	被加热石	白色 (溶解部)	小型 (溶解部)	白色 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·小空洞· 断面·壳层·锈斑·钻孔 等特征的陶器	黄褐色 (溶解部·烟孔)
第4号窯跡 (SD39)	被加热 (溶解部)	被加热石	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部·底面) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
被加热 (溶解部)	被加热石	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
被加热 (溶解部)	被加热石 (溶解部·砂泪) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部·底面) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
被加热 (溶解部)	被加热石 (溶解部) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
被加热 (溶解部)	被加热石 (溶解部) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
被加热 (溶解部)	被加热石 (溶解部) 中口直鉢口	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	被加热石 (溶解部)	鉄器 (溶解部)	带引火孔·人型 模様·氧化物等	H(○)
分析									

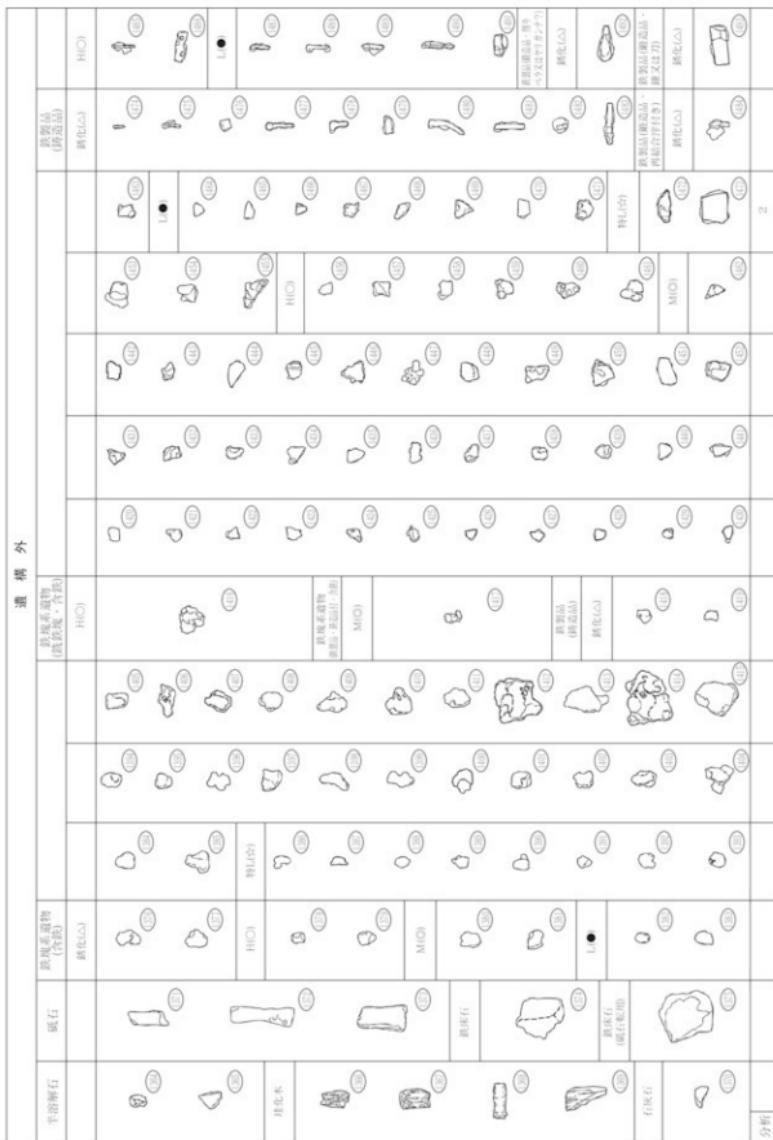
第105図 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (12)

外構道											
金型(溶解型)						鉄型(溶解型)					
大口鋸形口溶型			鋸刃・扇形口溶型			鋸形			小堀(溶解型)		
上地 地上平											
上段下平											
中段下平											
下段上平											
下段下平											
合二段下平(鋸刃底)											
分筋											

第106図 鋼造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (13)





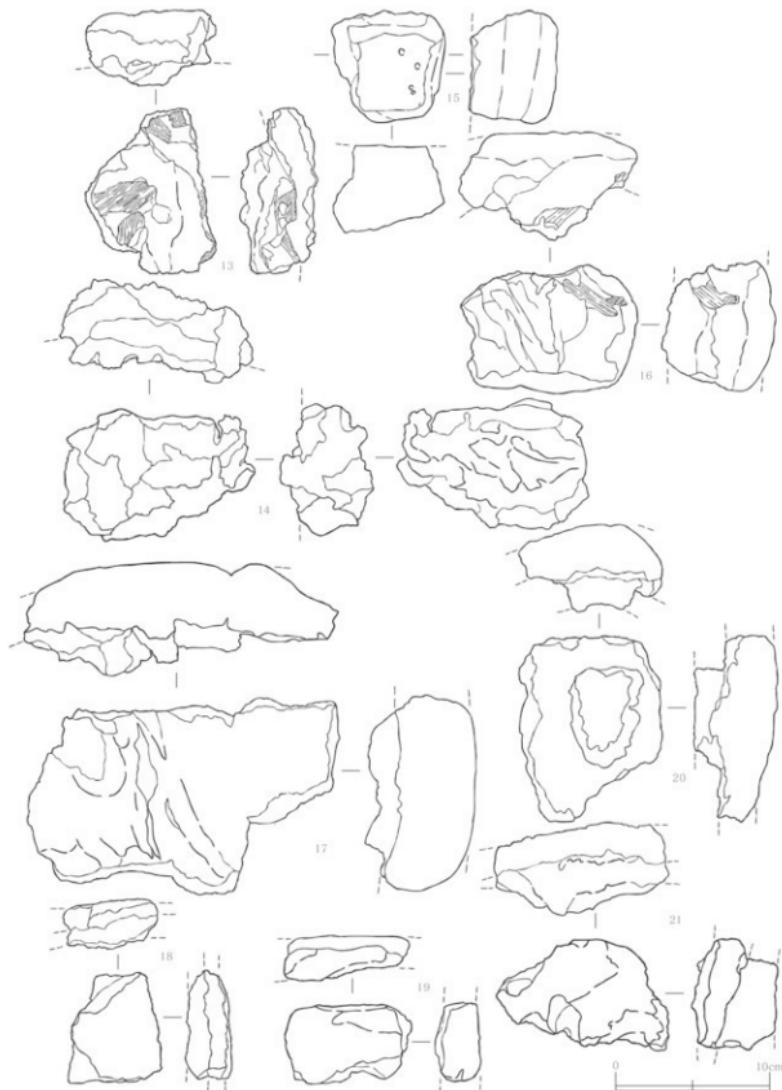


第109図 鋳造・製鉄・鍛冶関連遺物構成図 (16)





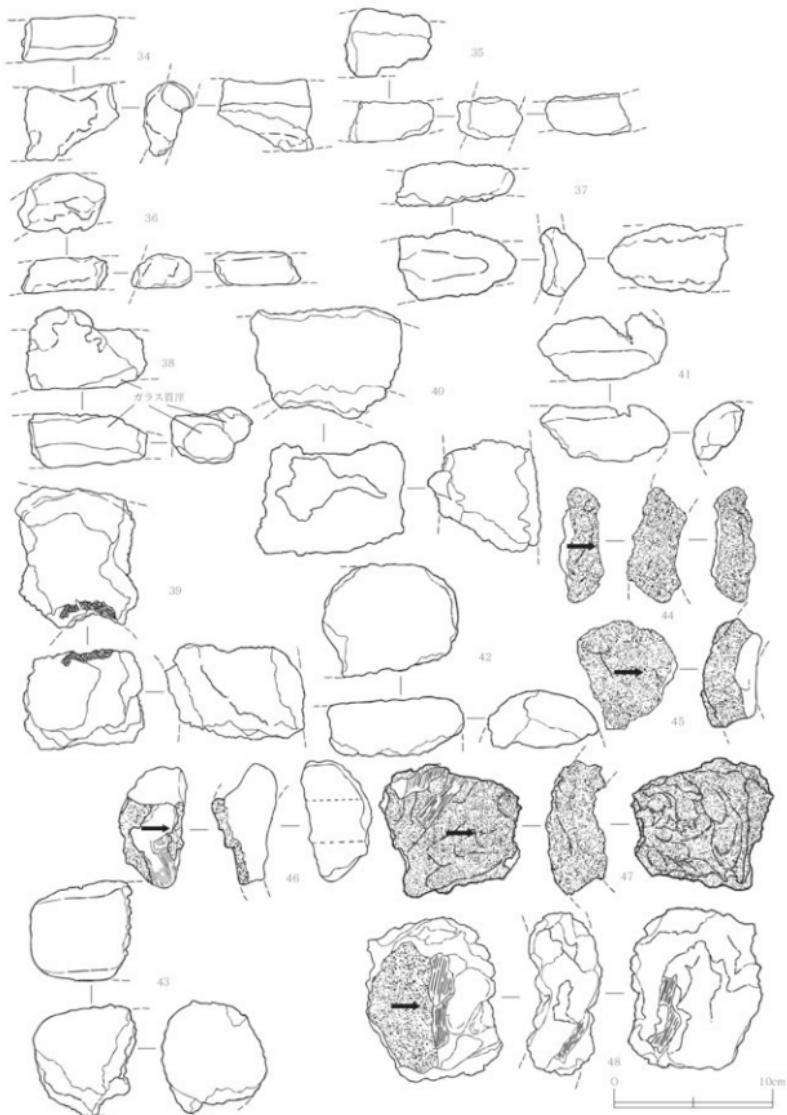
第111図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（1）



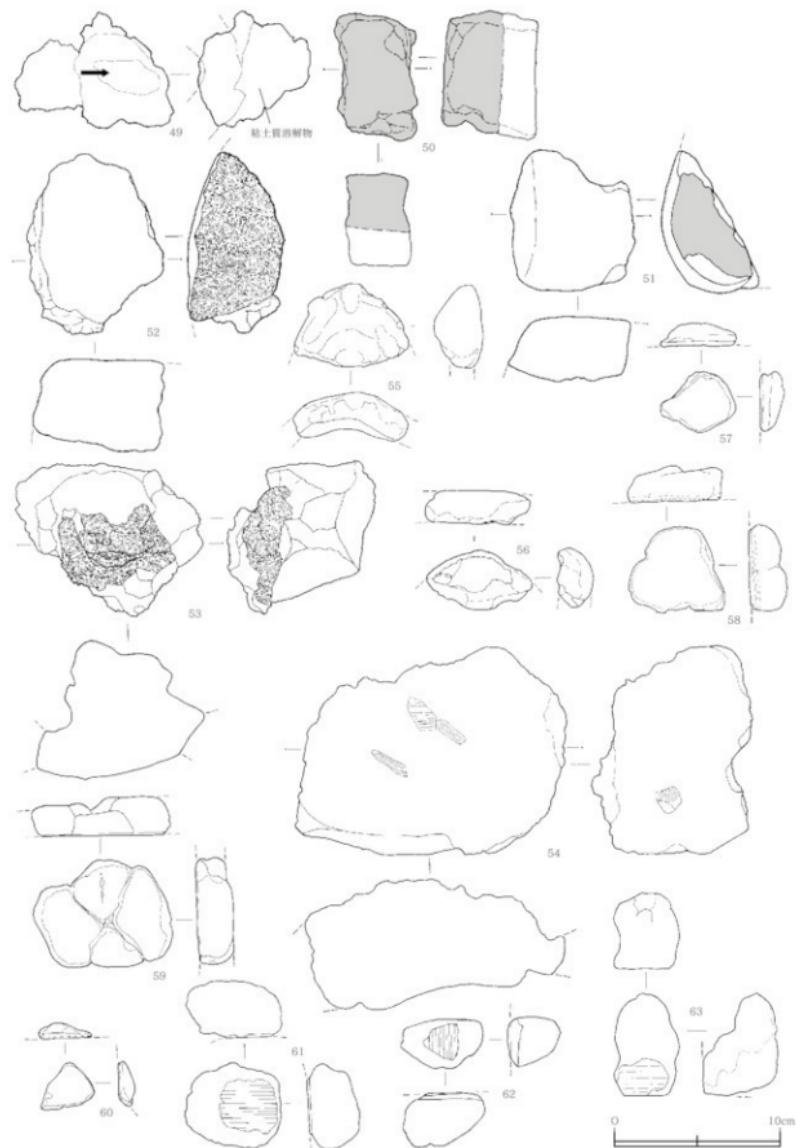
第112図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（2）



第113図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（3）



第114図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（4）



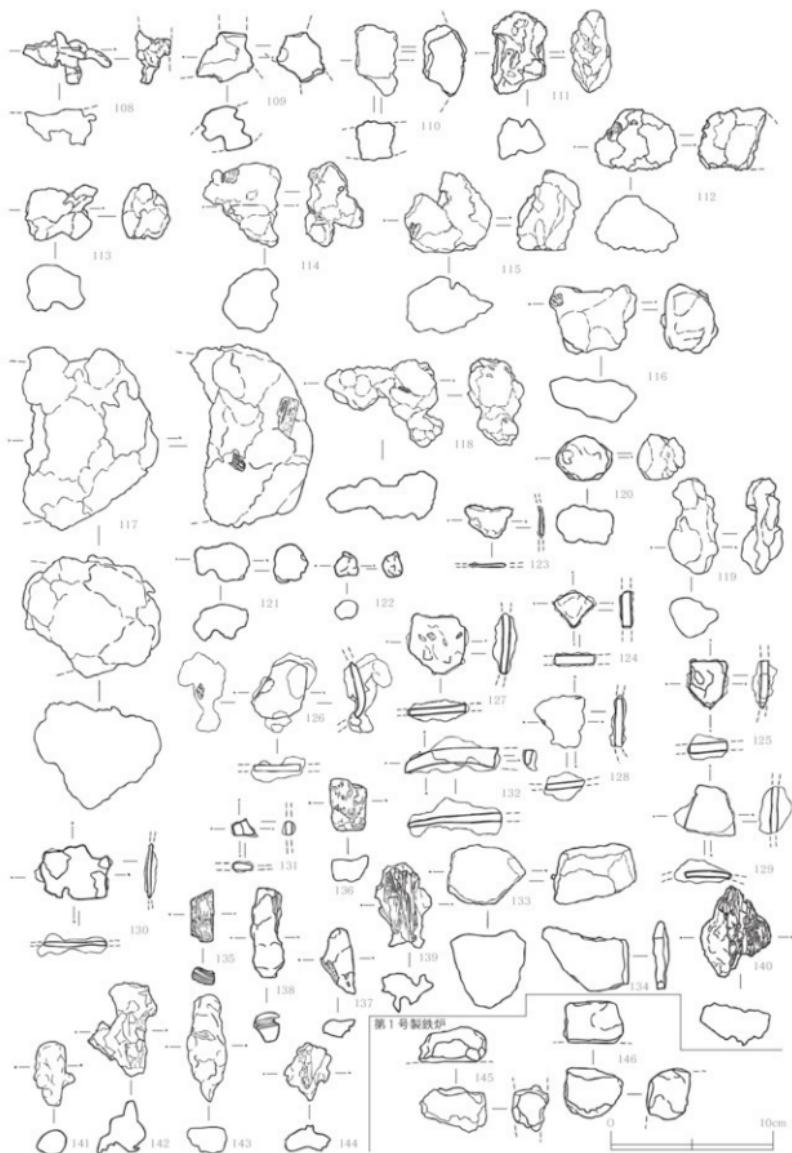
第115図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（5）



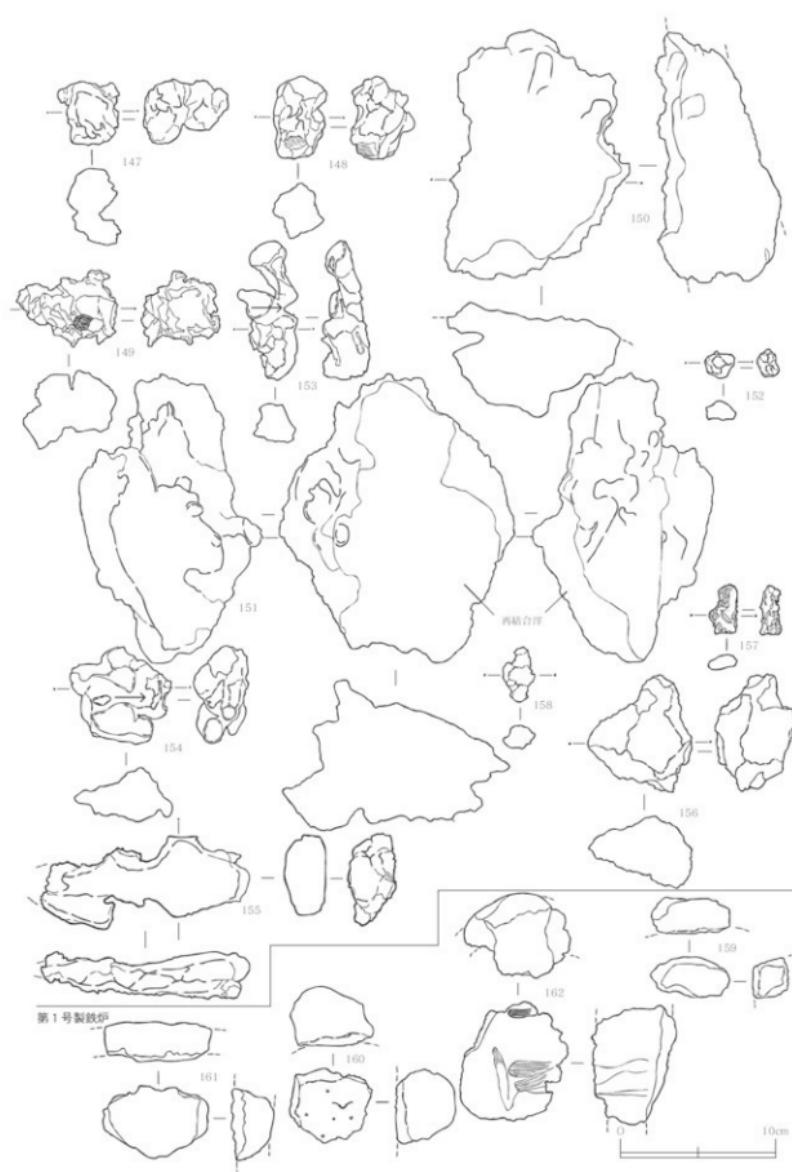
第116図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（6）



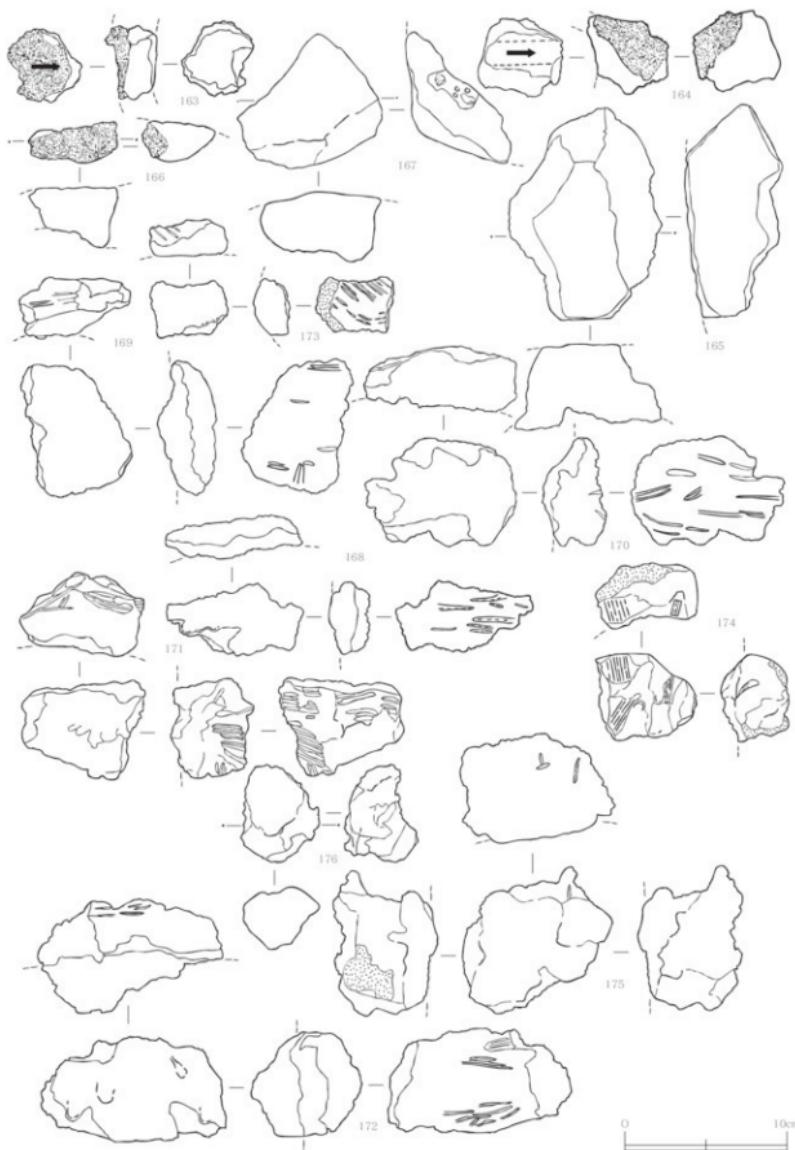
第117図 梵鐘鋳造遺構出土遺物（7）



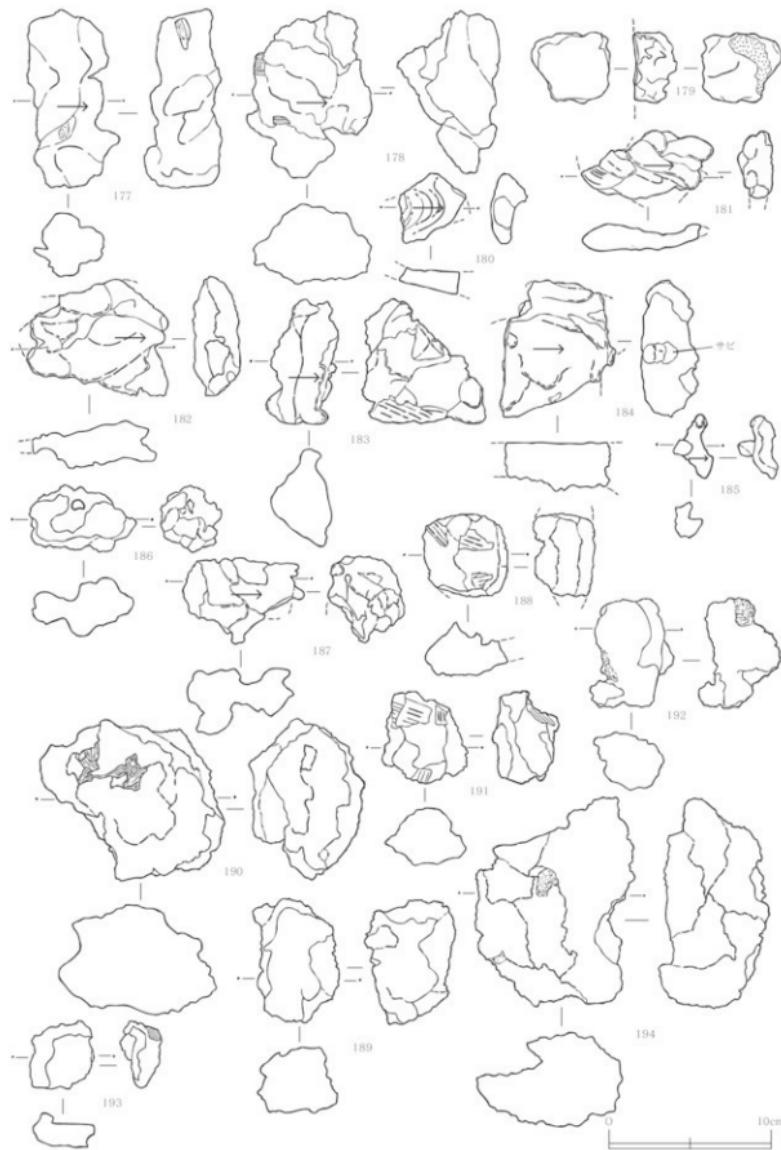
第118図 梵鐘鋳造遺構（8）・第1号製鉄炉出土遺物（1）



第119図 第1号製鉄炉出土遺物（2）



第120図 第1号製鉄炉出土遺物（3）



第121図 第1号製鉄炉出土遺物（4）



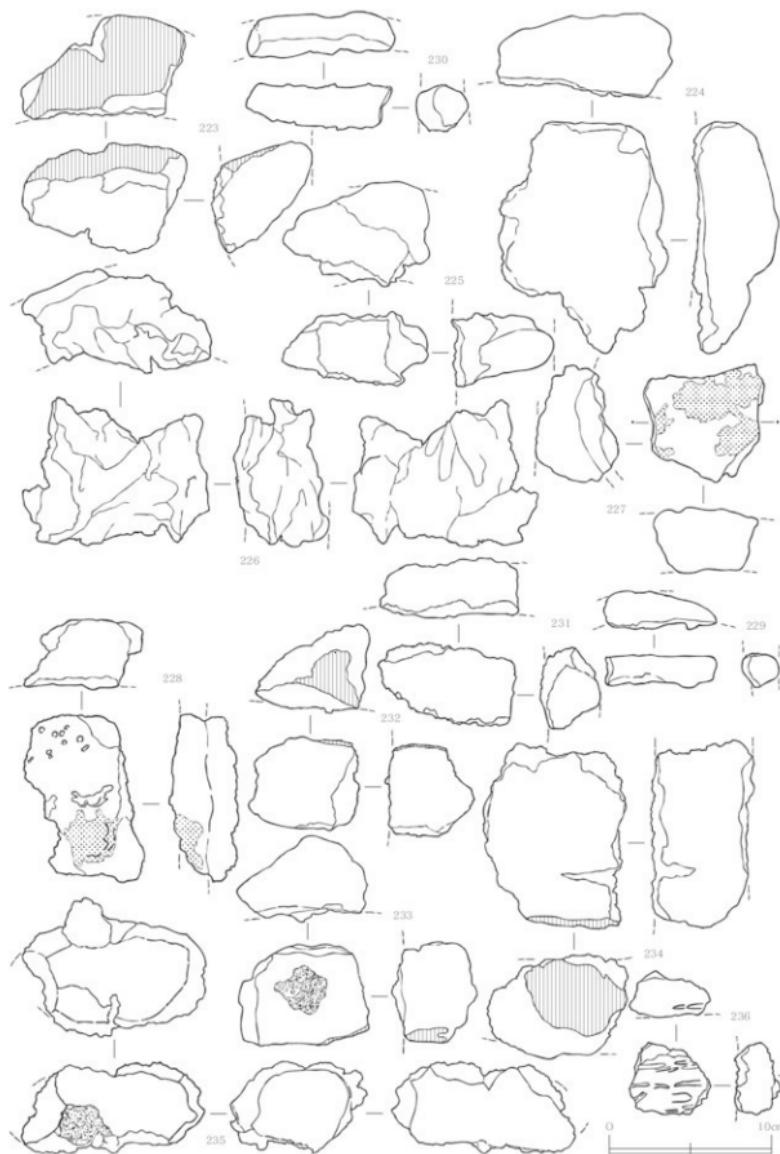
第122図 第1号製鉄炉出土遺物（5）・フイゴ座・第1号排済場出土遺物（1）



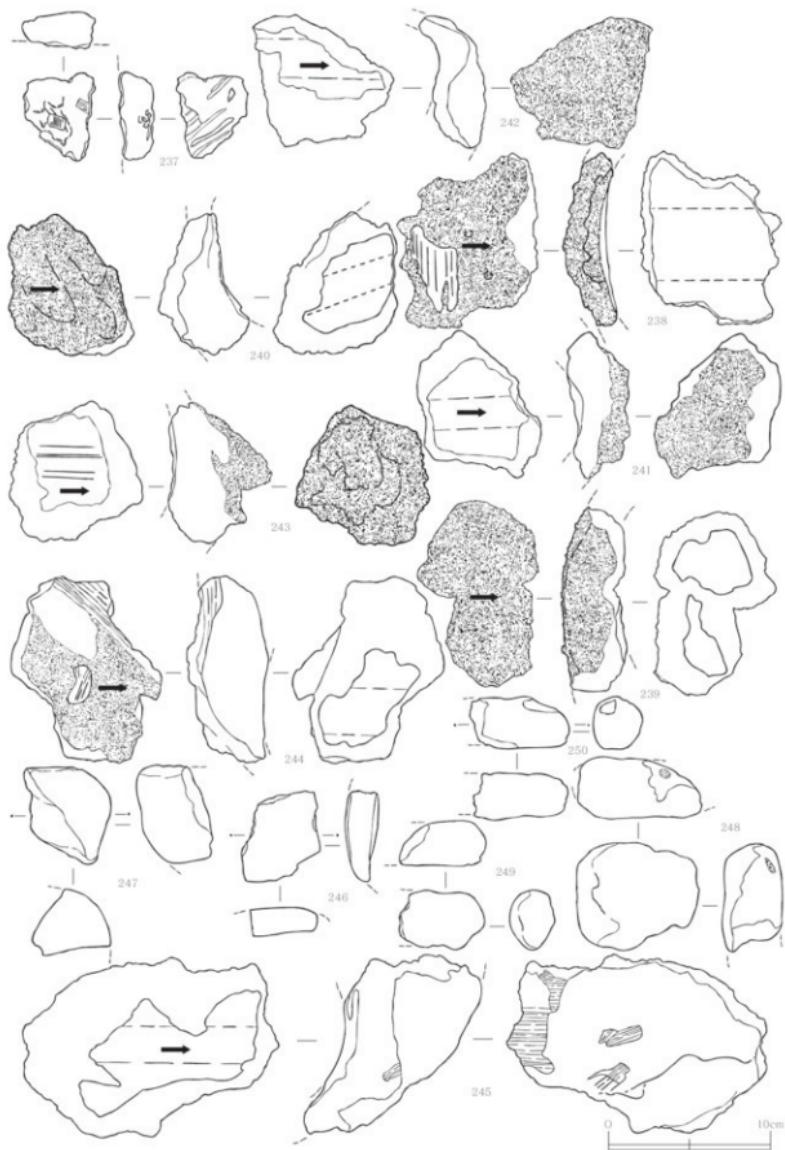
第123図 第1号排溝場出土遺物（2）



第124図 第1号排溝場出土遺物（3）



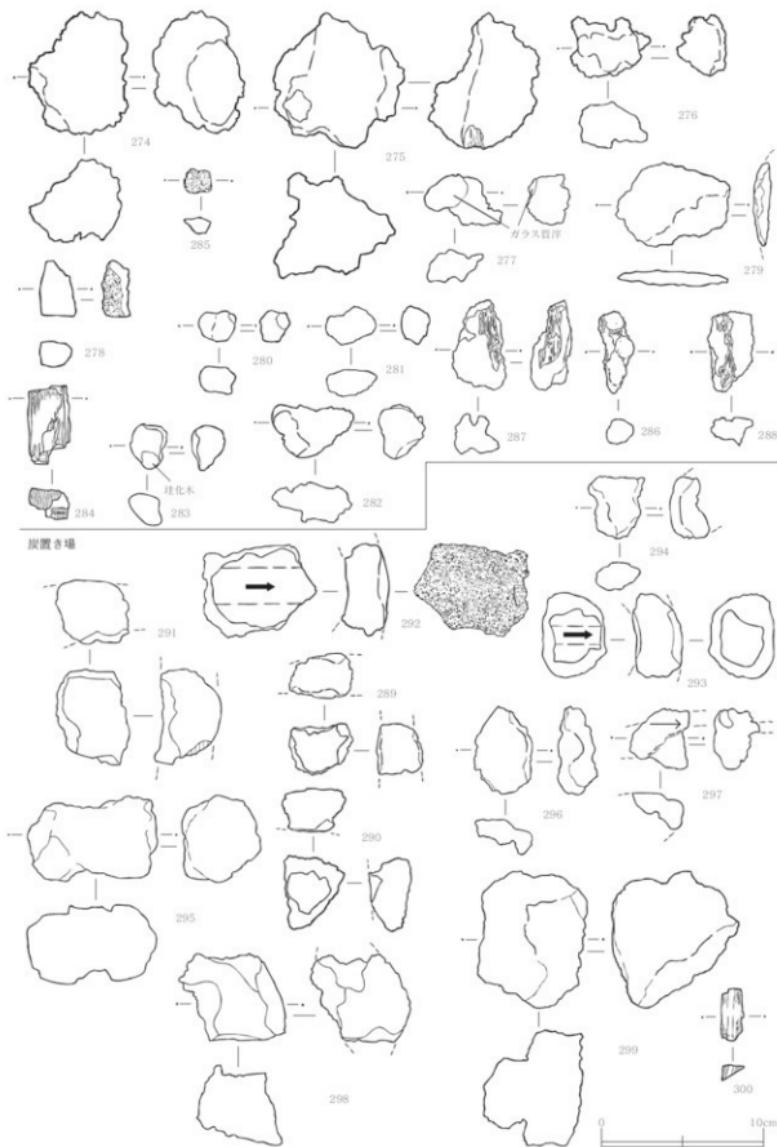
第125図 第1号排溝場出土遺物（4）



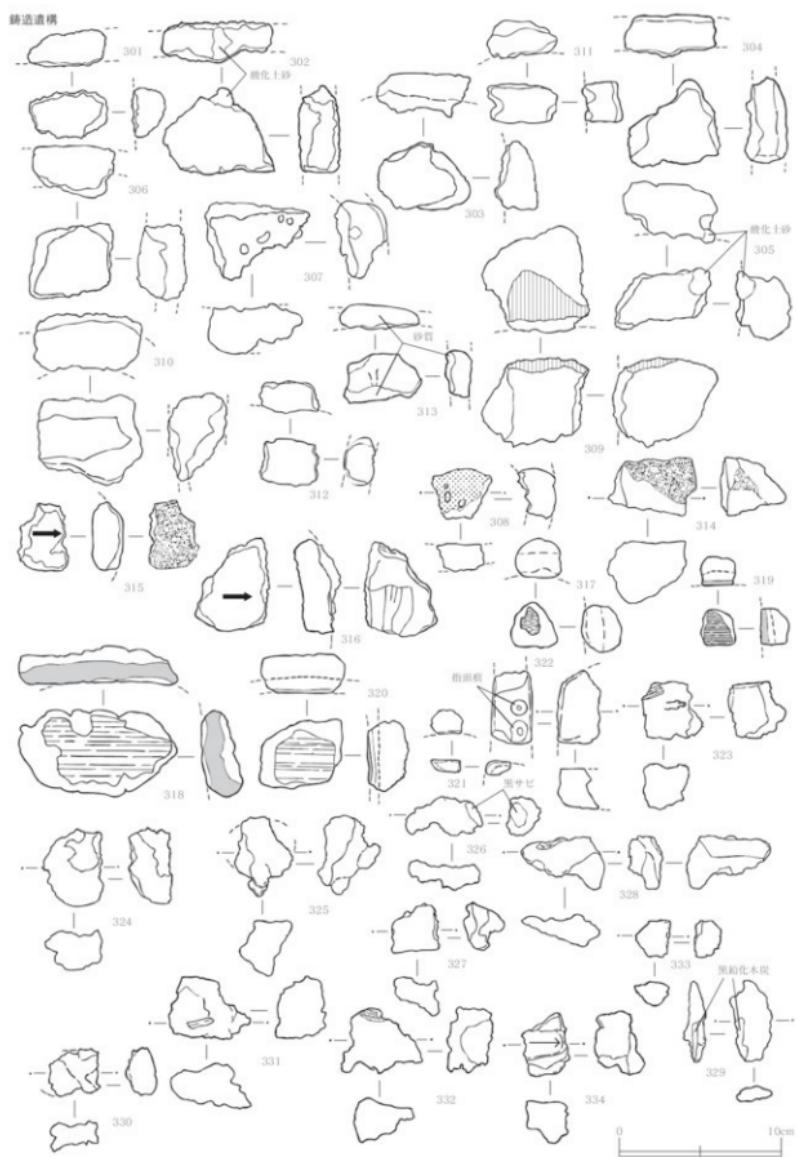
第126図 第1号排溝場出土遺物（5）



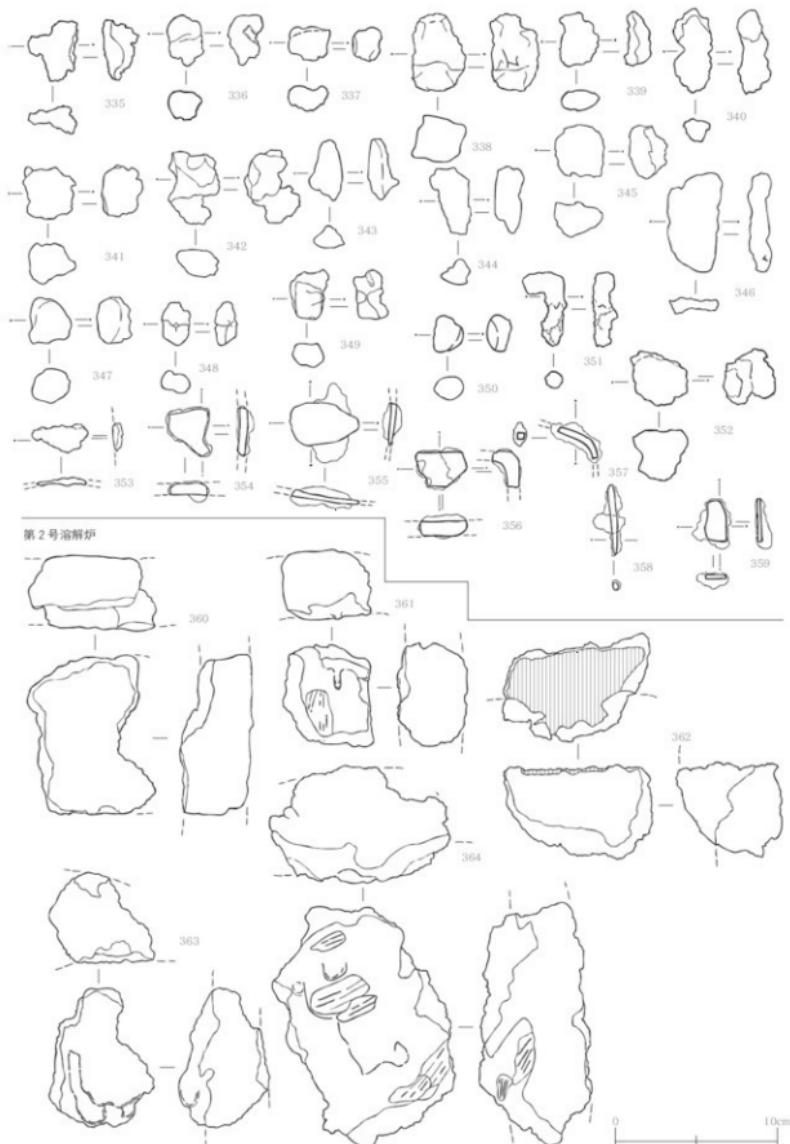
第127図 第1号排滓場出土遺物（6）



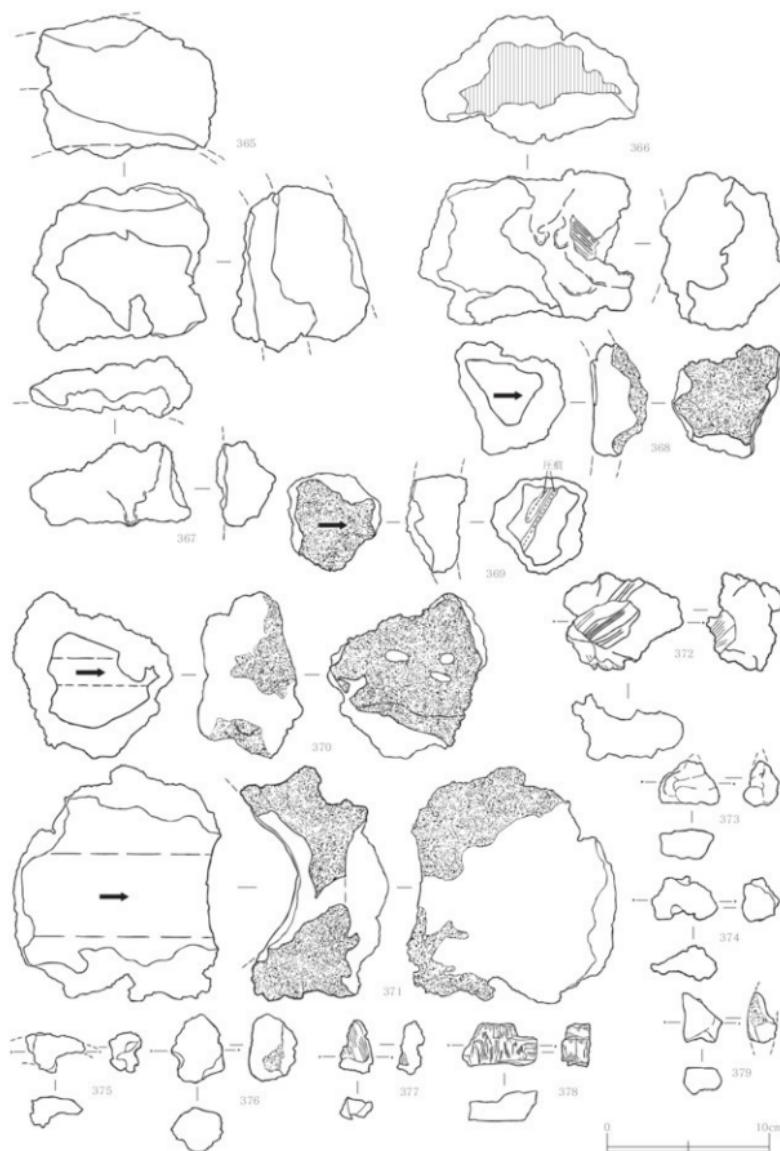
第128図 第1号排溝場（7）・炭置き場出土遺物



第129図 鋳造遺構出土遺物（1）



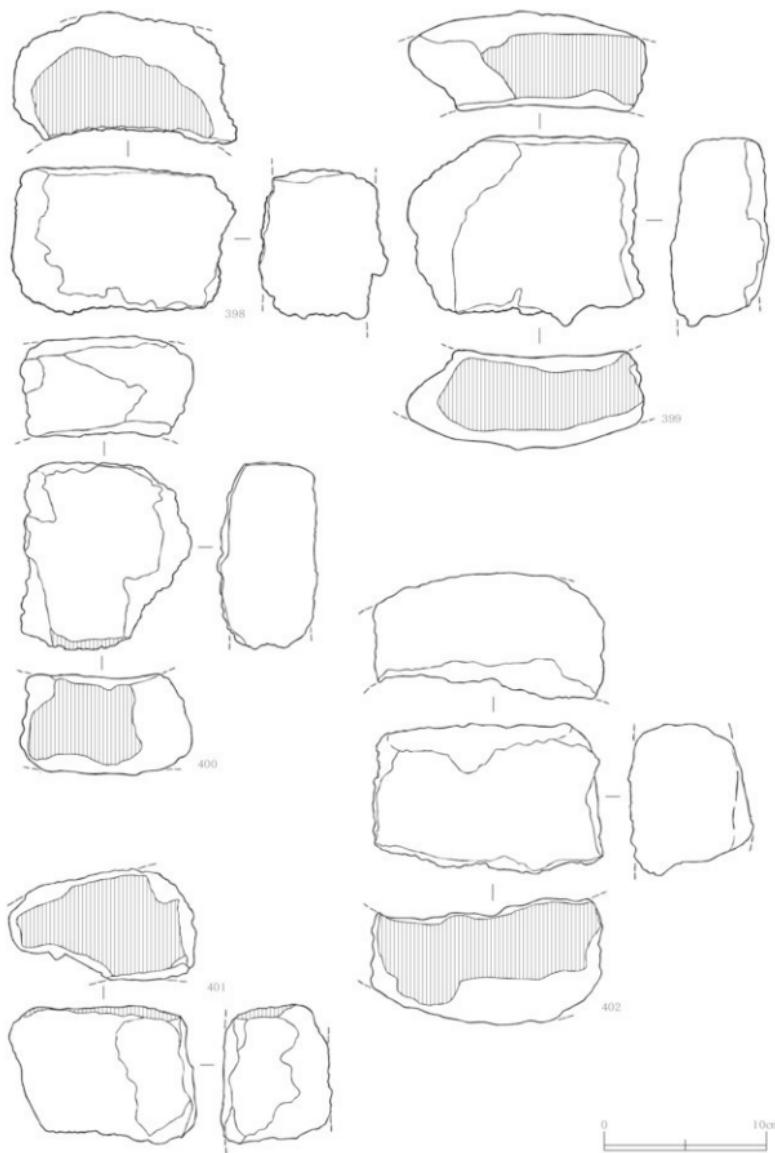
第130図 鋳造遺構 (2)・第2号溶解炉出土遺物 (1)



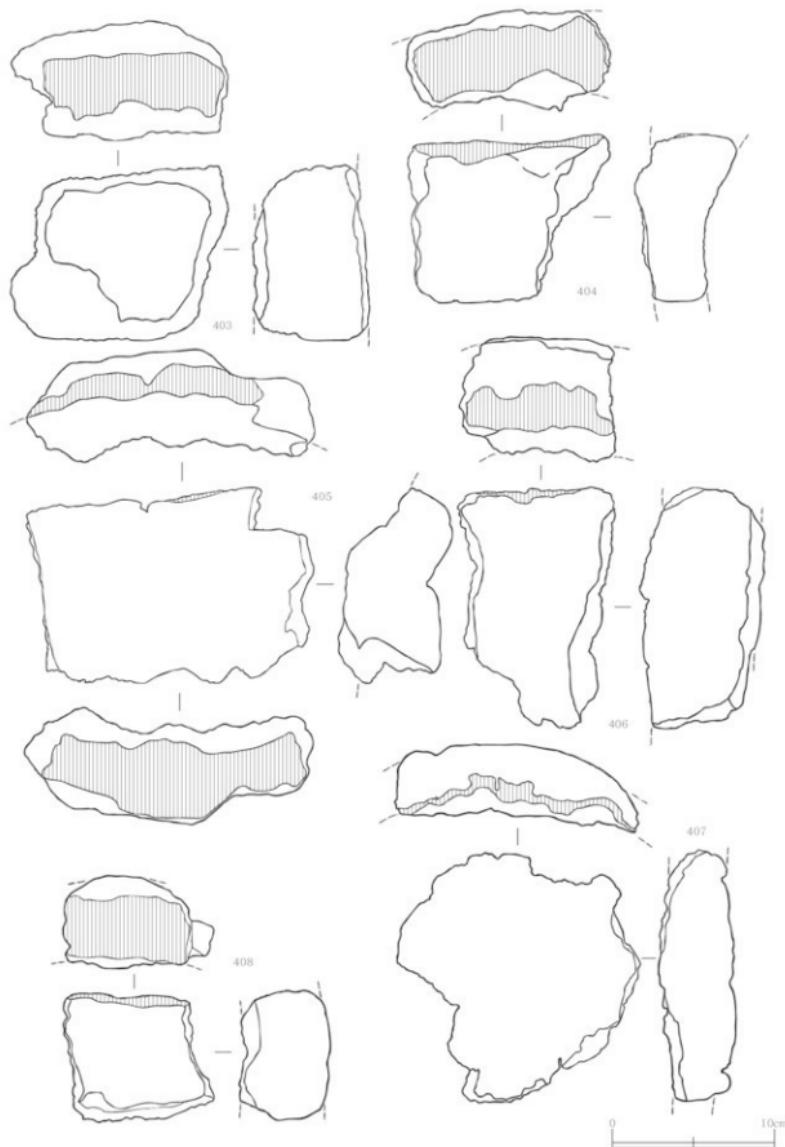
第131図 第2号溶解炉出土遺物（2）



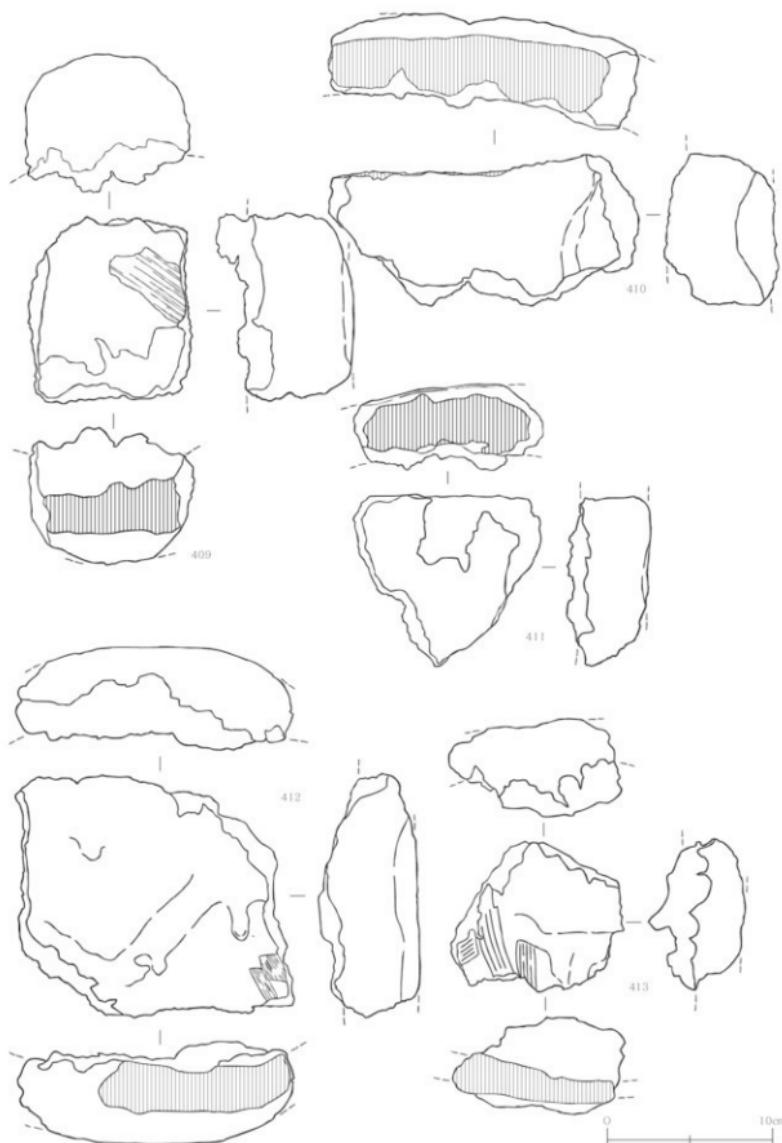
第132図 第1号土坑・第2号排溝場出土遺物（1）



第133図 第2号排溝場出土遺物（2）



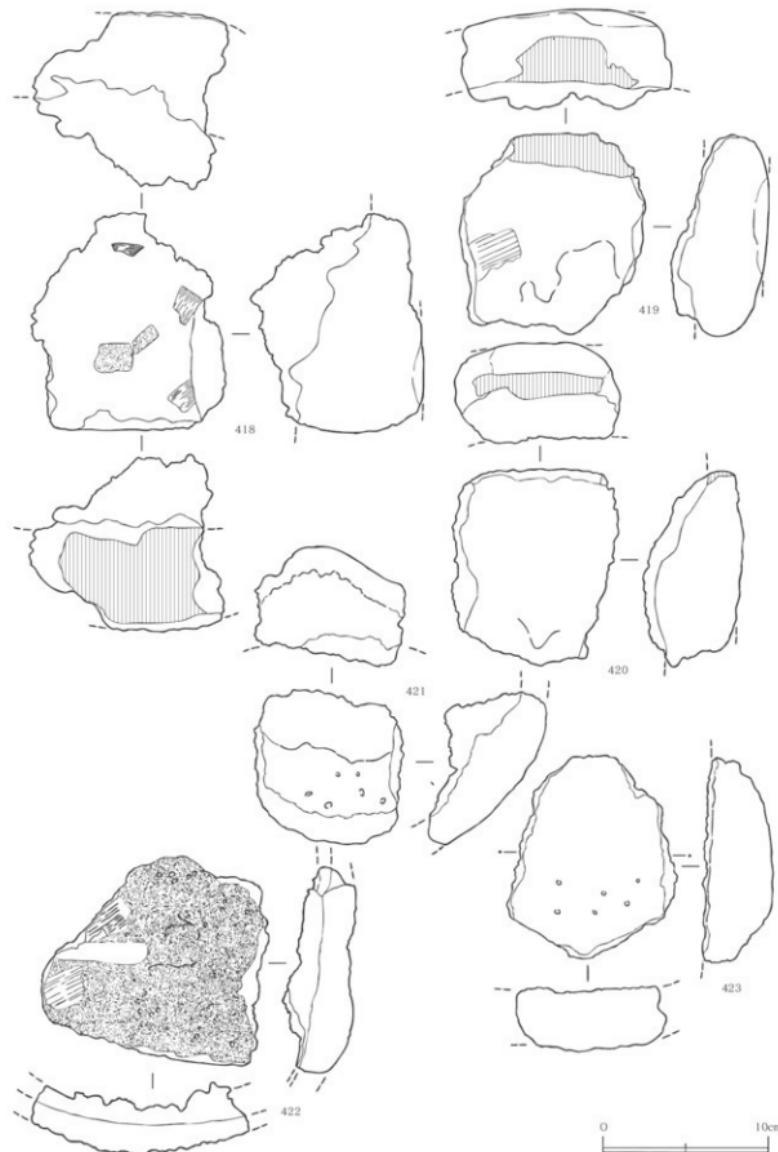
第134図 第2号排溝場出土遺物（3）



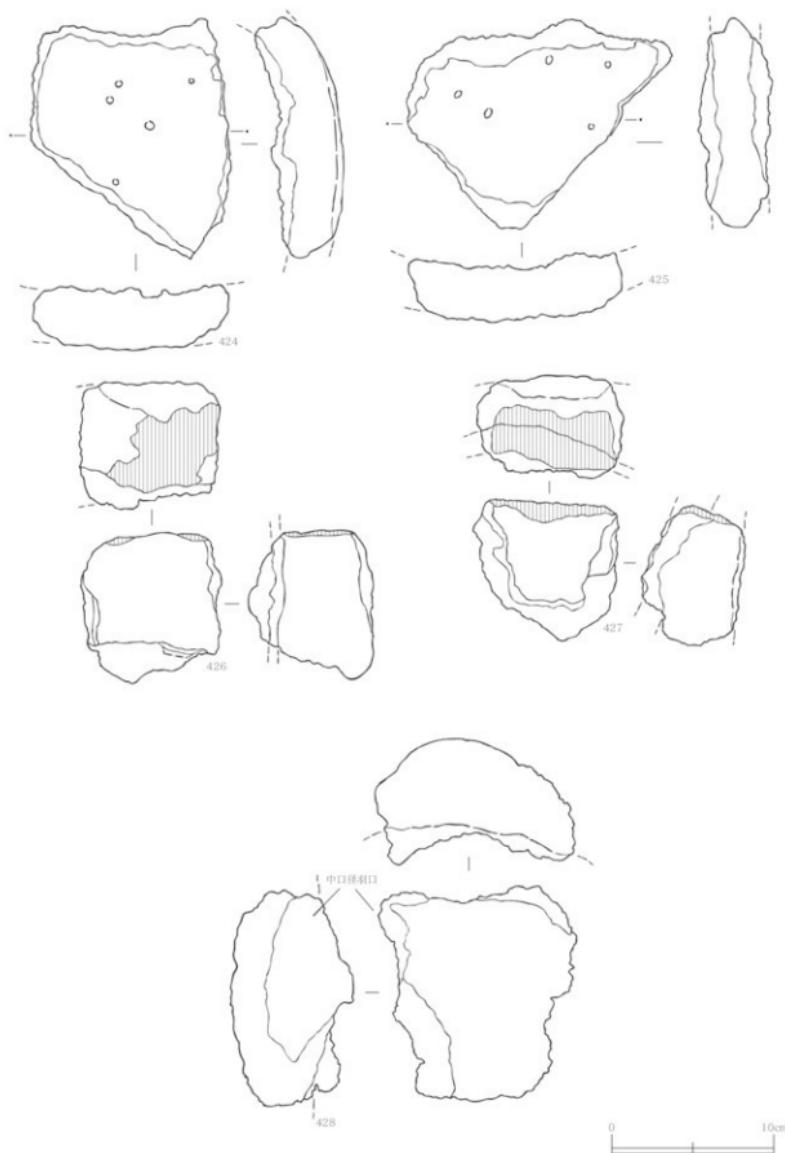
第135図 第2号排溝場出土遺物（4）



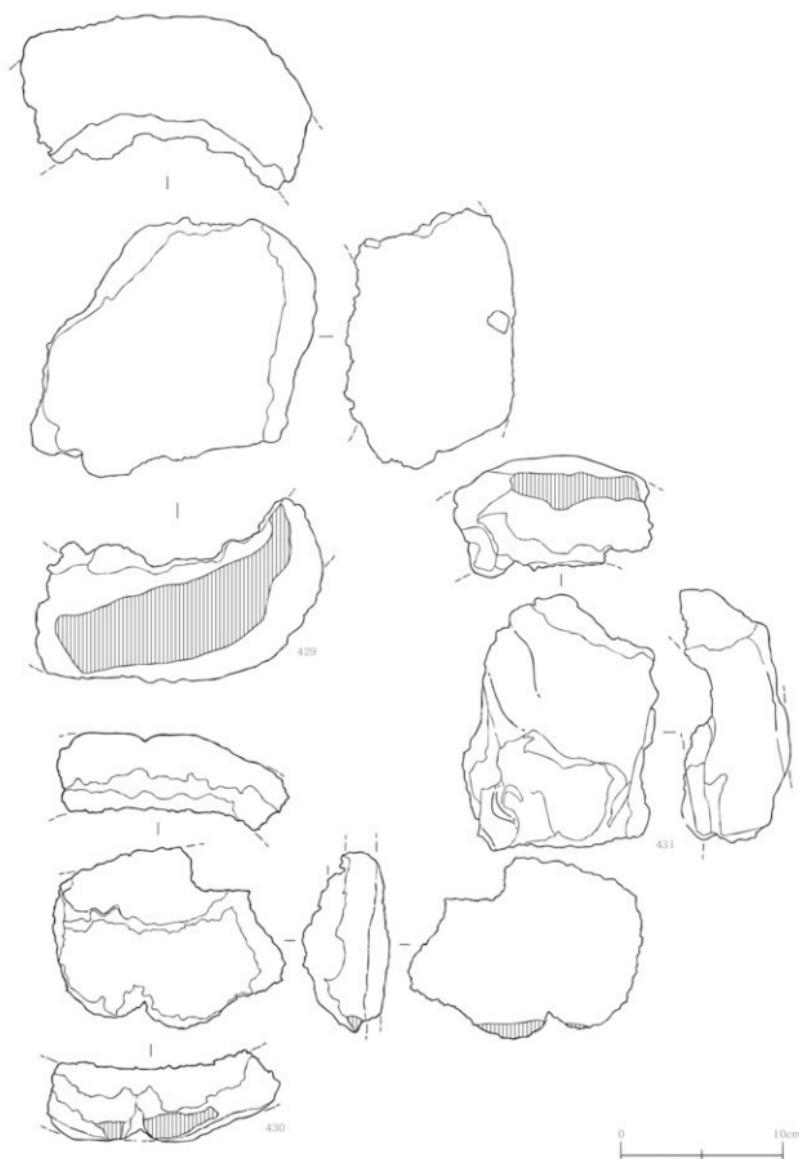
第136図 第2号排溝場出土遺物（5）



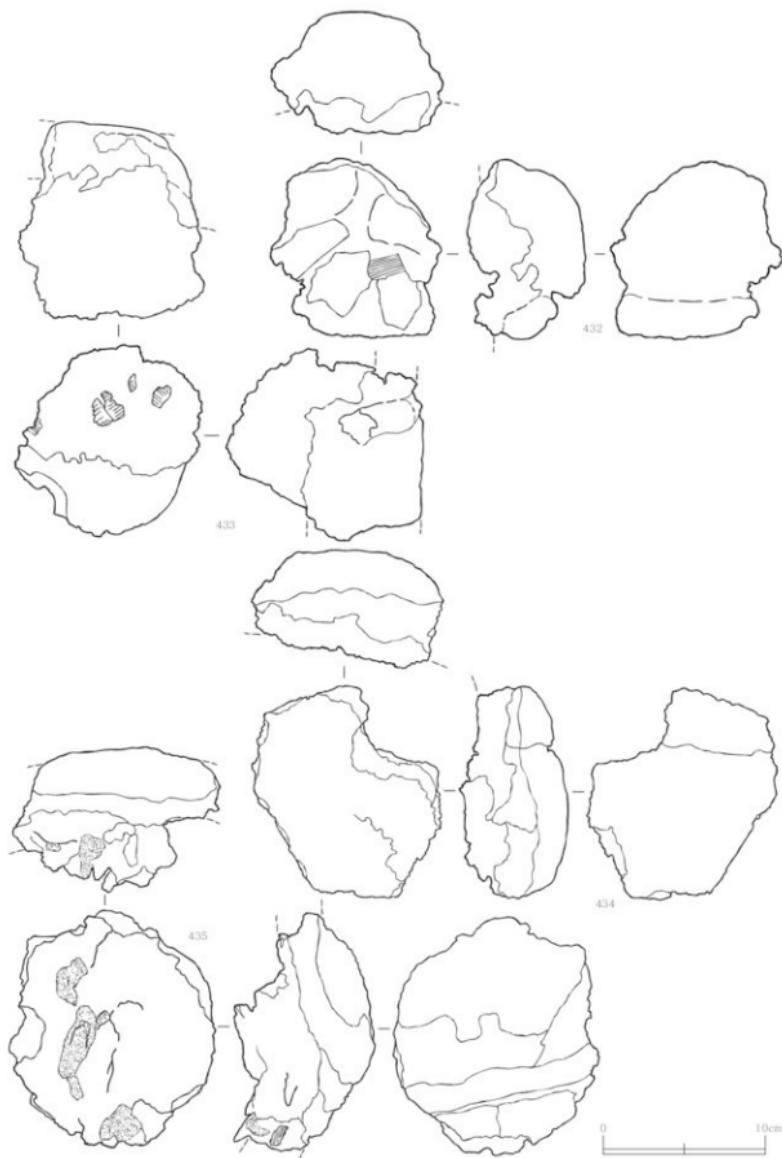
第137図 第2号排溝場出土遺物（6）



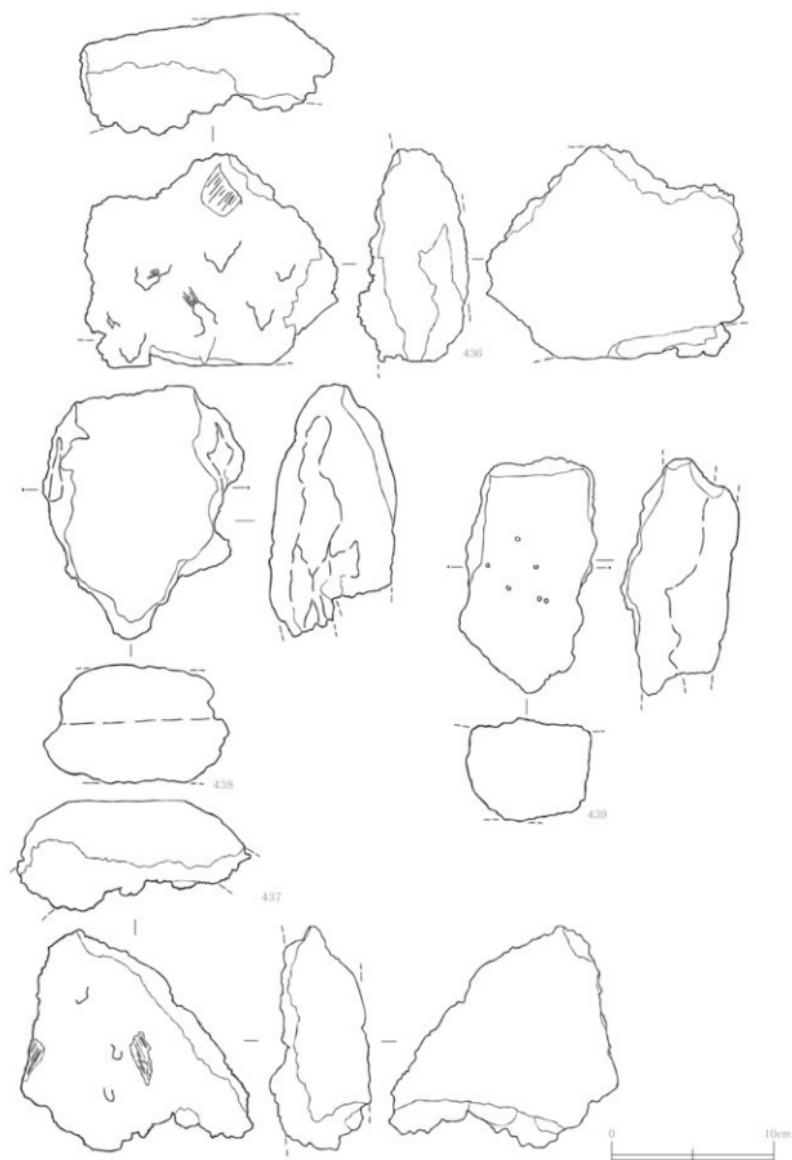
第138図 第2号排溝場出土遺物（7）



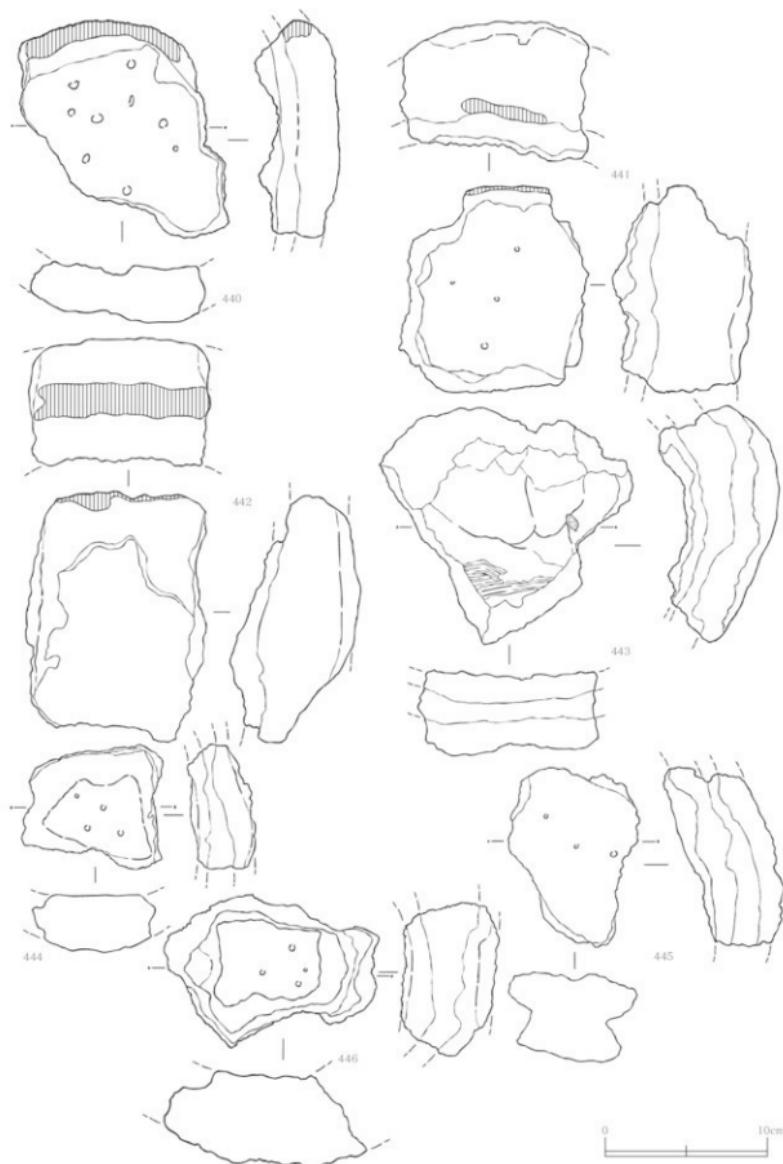
第139図 第2号排滓場出土遺物（8）



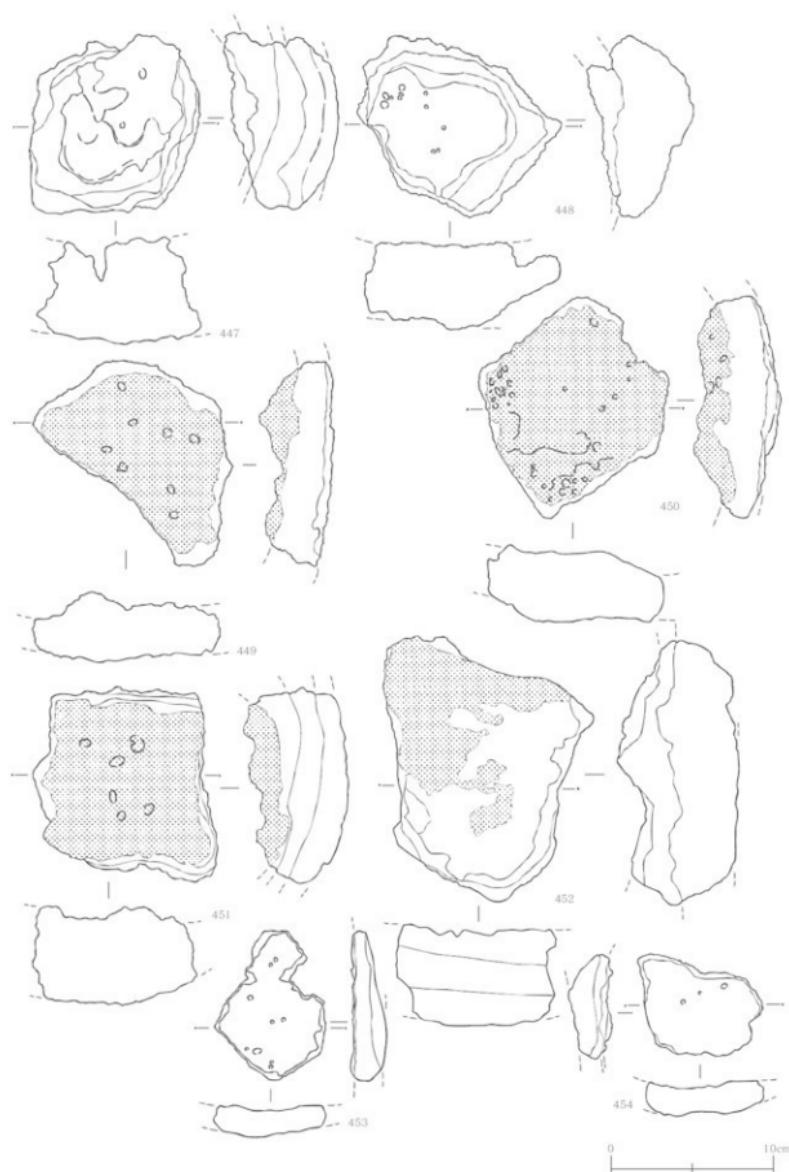
第140図 第2号排溝場出土遺物（9）



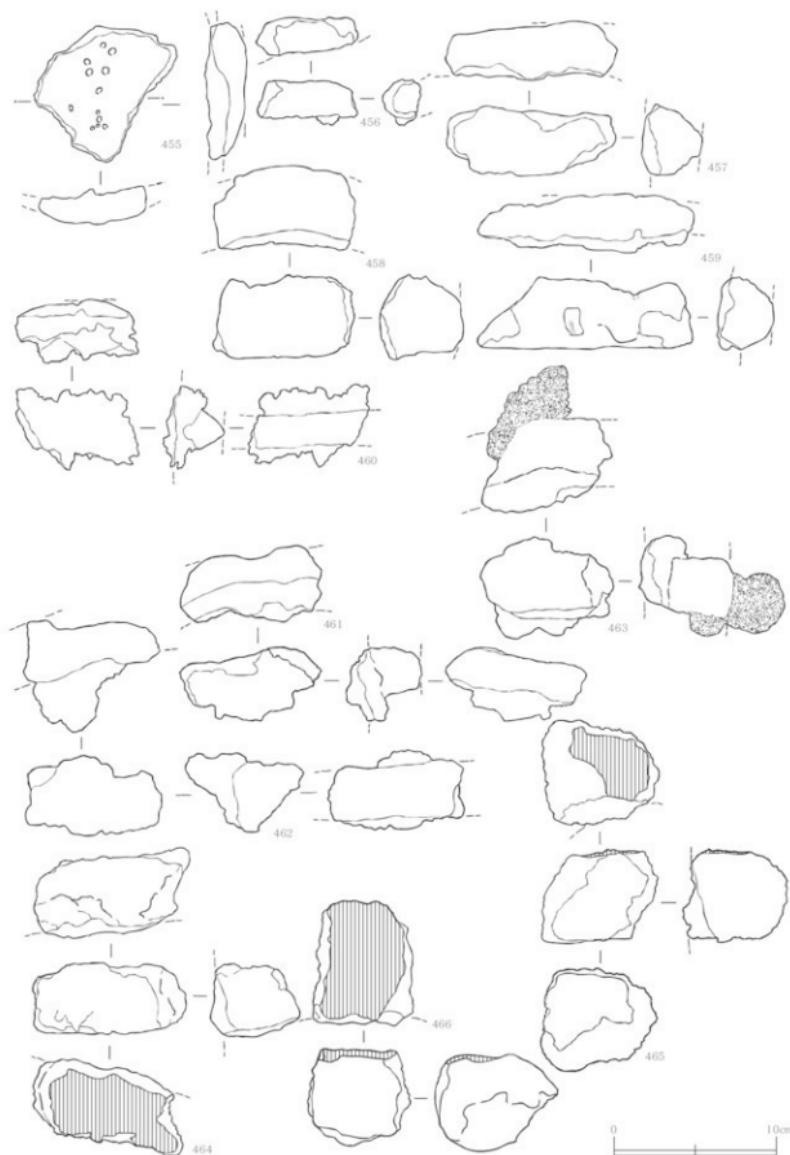
第141図 第2号排滓場出土遺物（10）



第142図 第2号排溝場出土遺物（11）



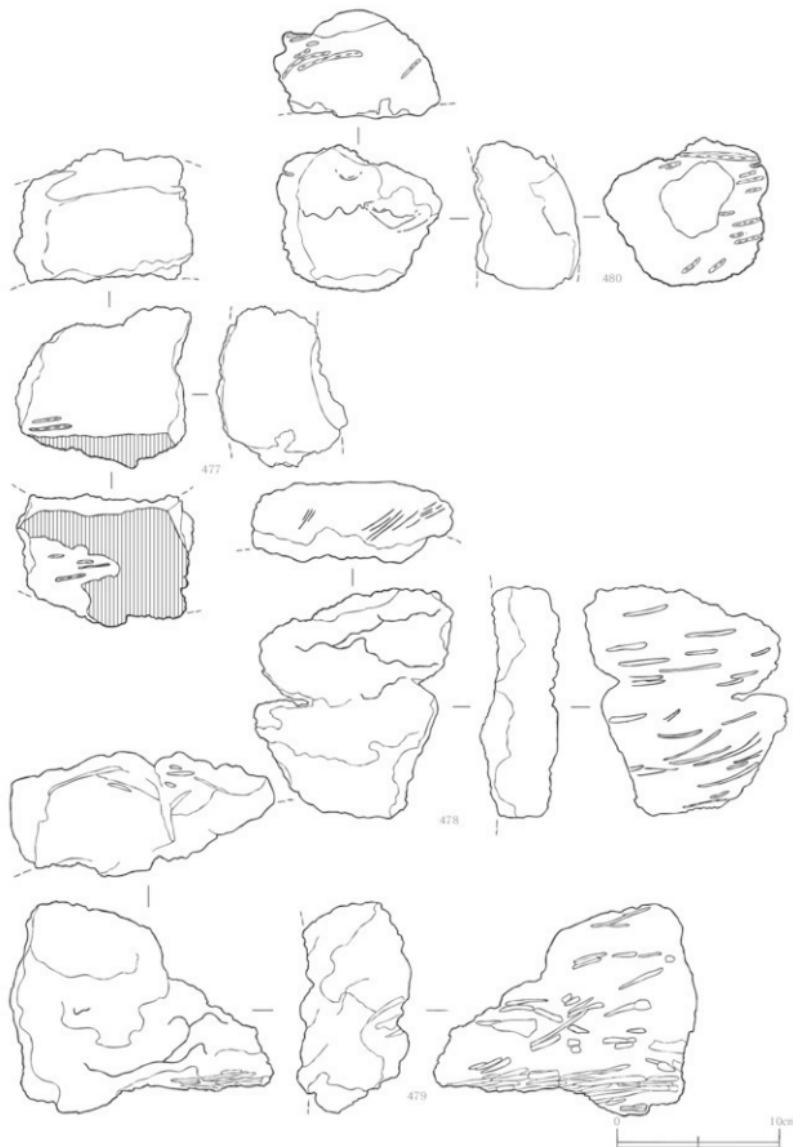
第143図 第2号排溝場出土遺物（12）



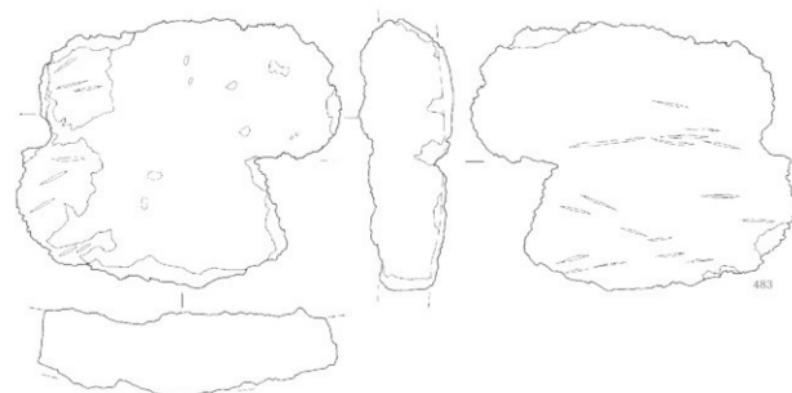
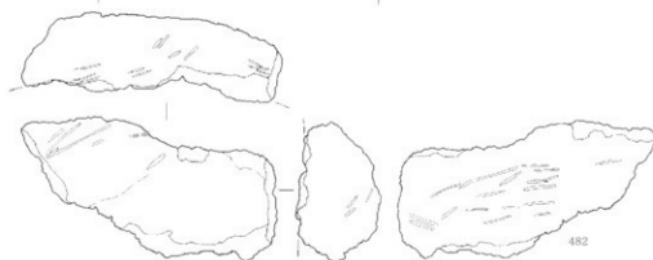
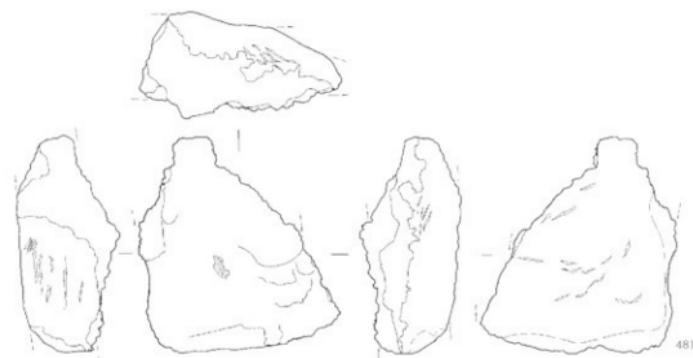
第144図 第2号排溝場出土遺物（13）



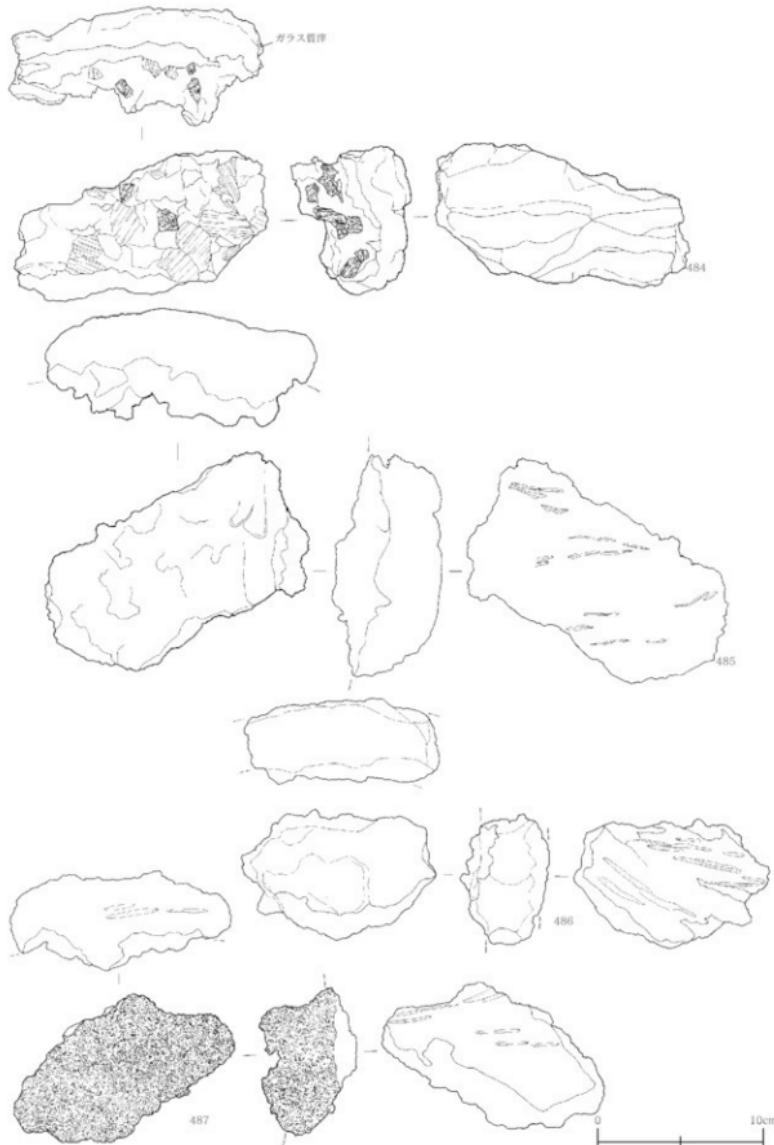
第145図 第2号排溝場出土遺物（14）



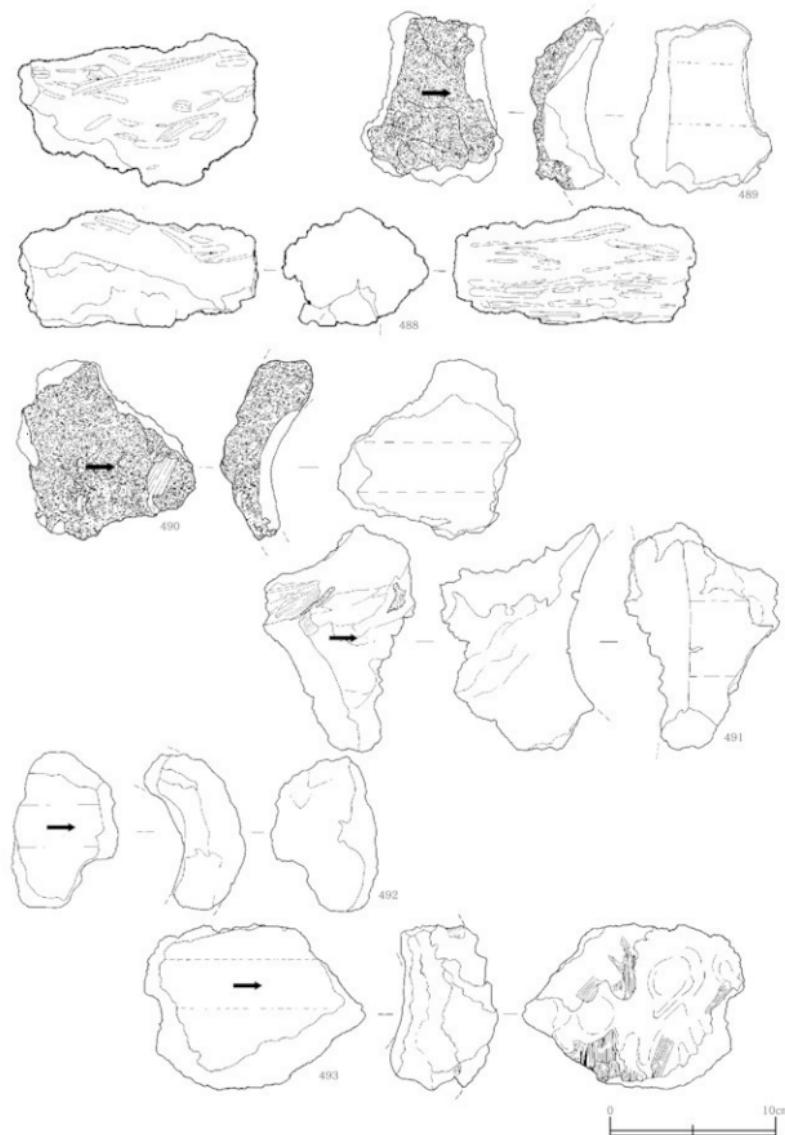
第146図 第2号排溝場出土遺物（15）



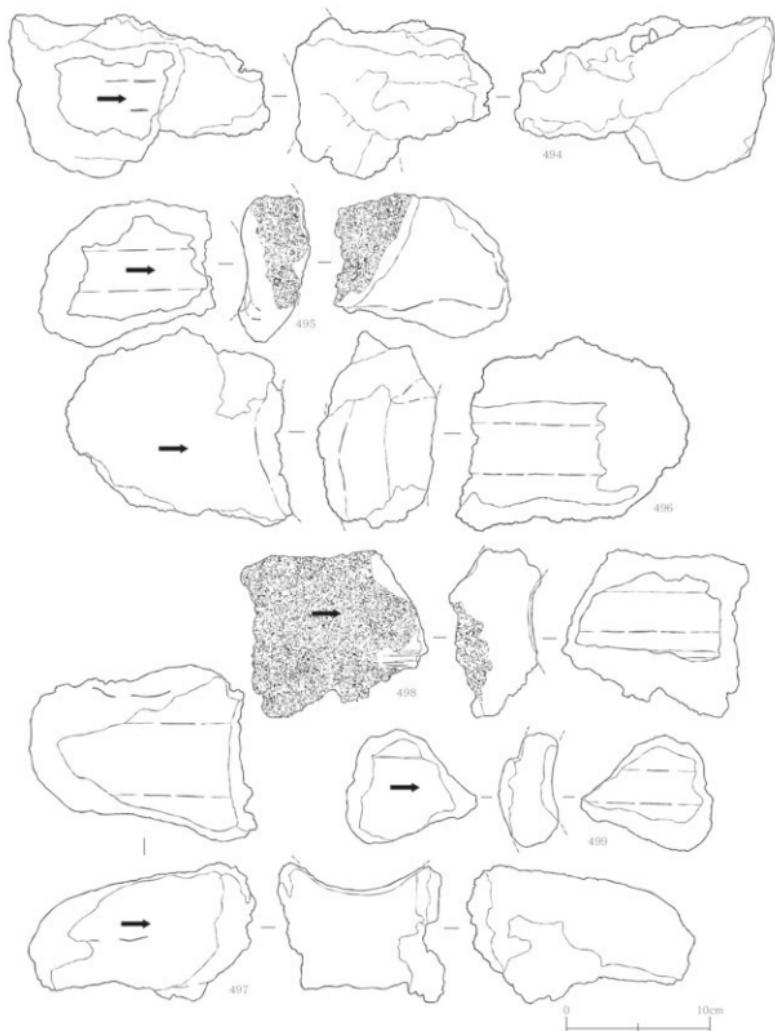
第147図 第2号排滓場出土遺物（16）



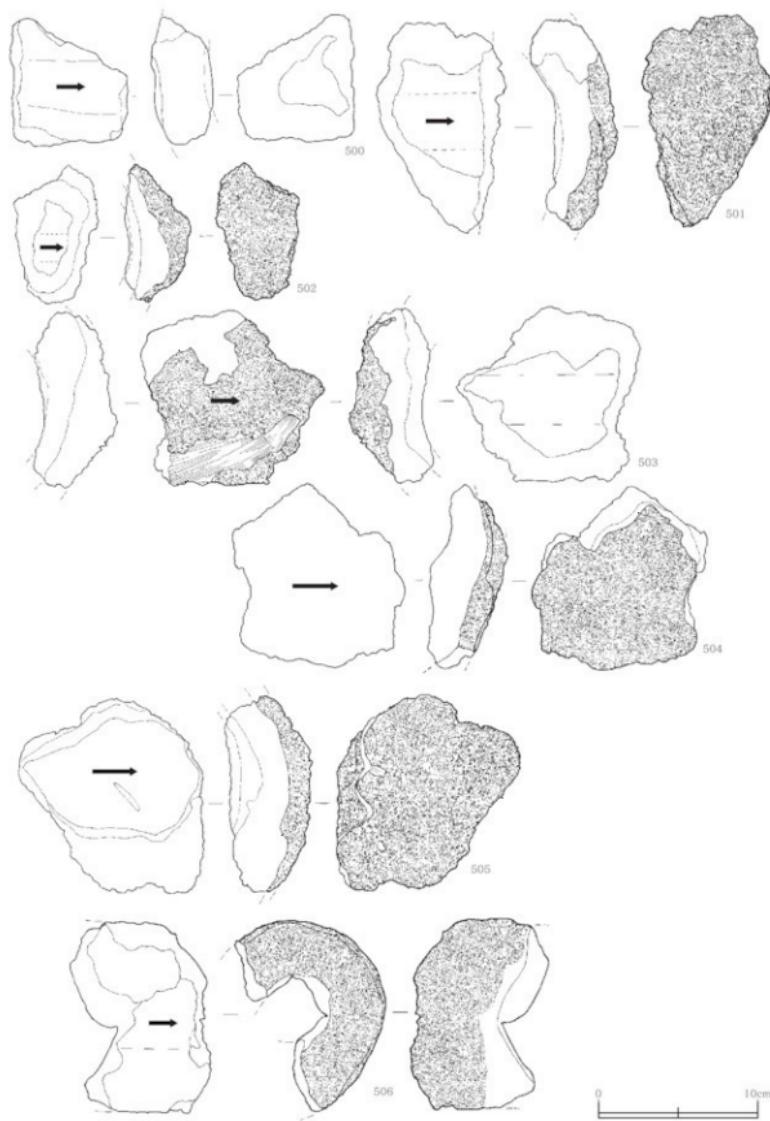
第148図 第2号排溝場出土遺物 (17)



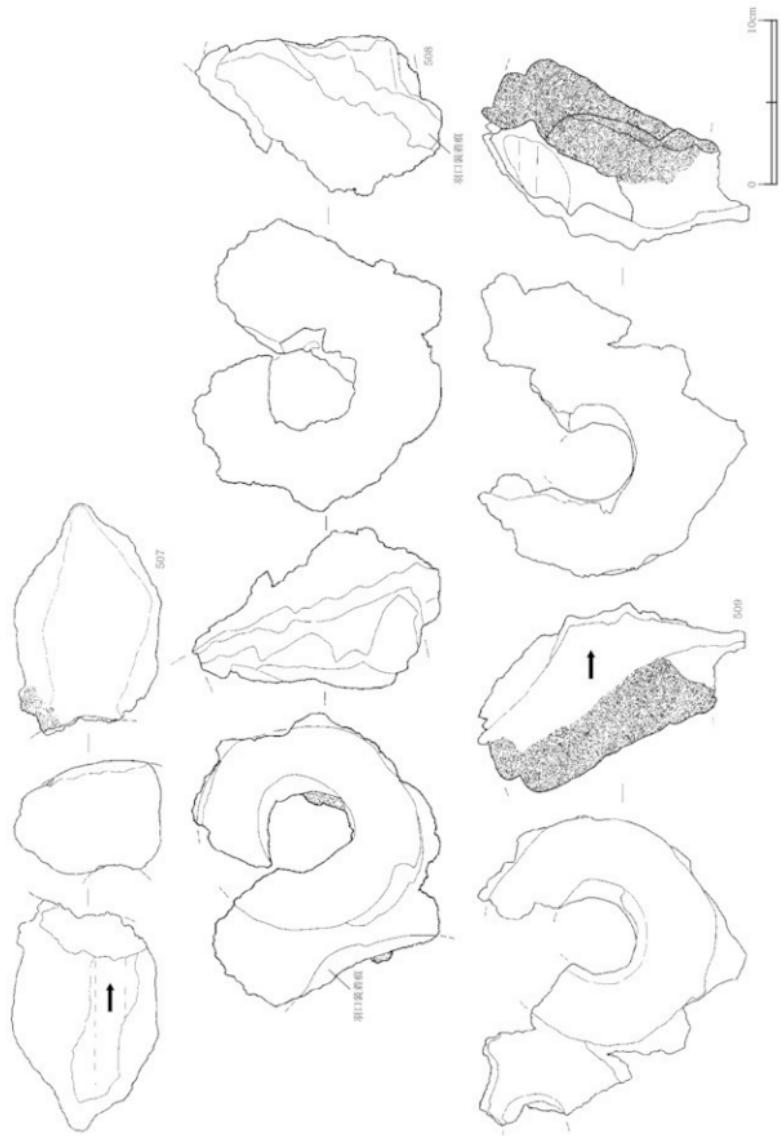
第149図 第2号排溝場出土遺物（18）



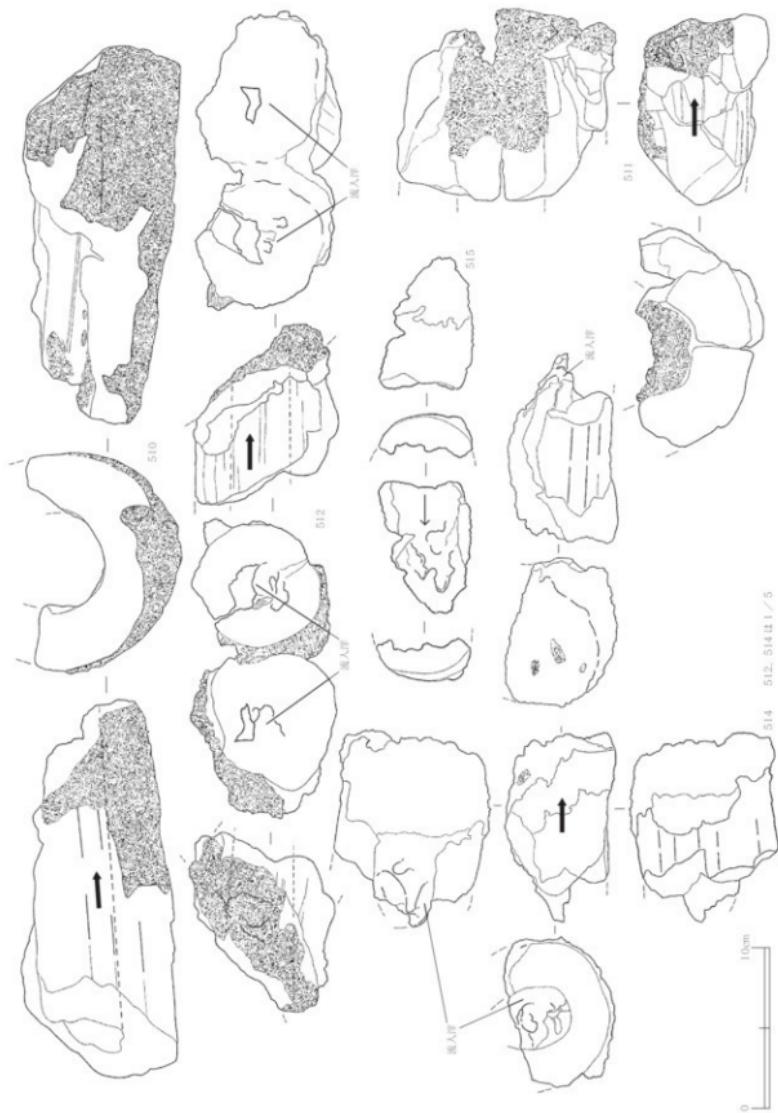
第150図 第2号排溝場出土遺物（19）



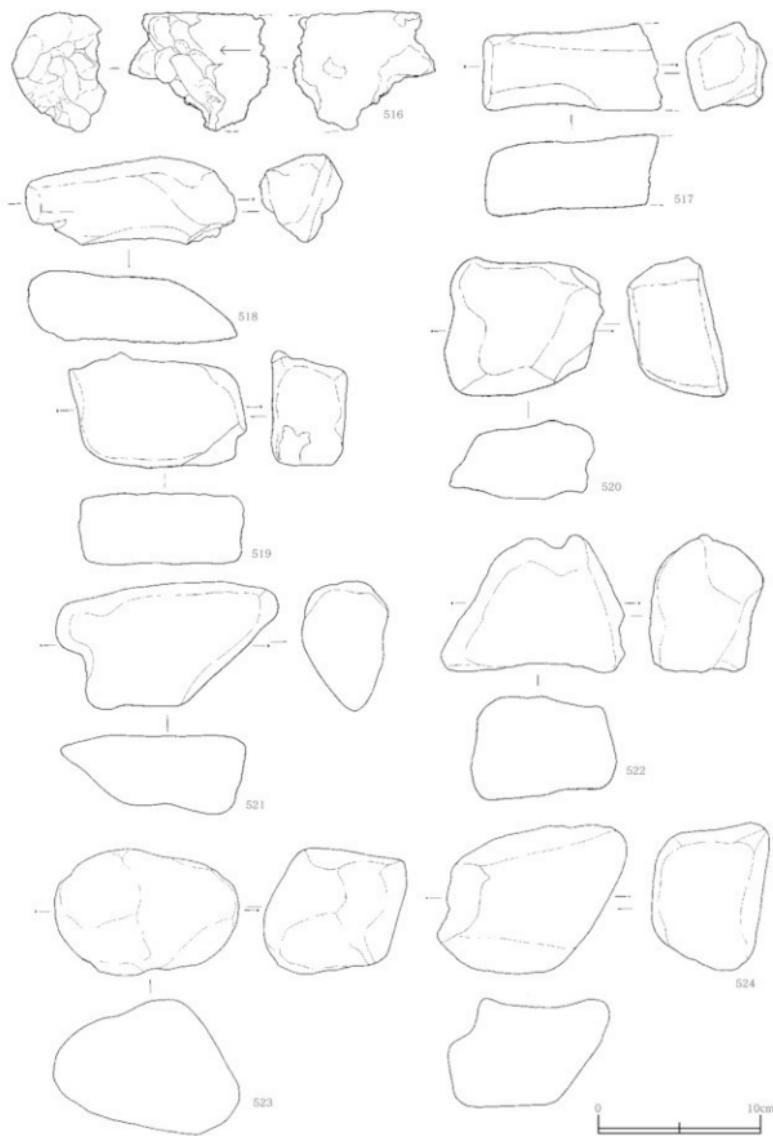
第151図 第2号排溝場出土遺物（20）



第152図 第2号排溝出土遺構 (21)



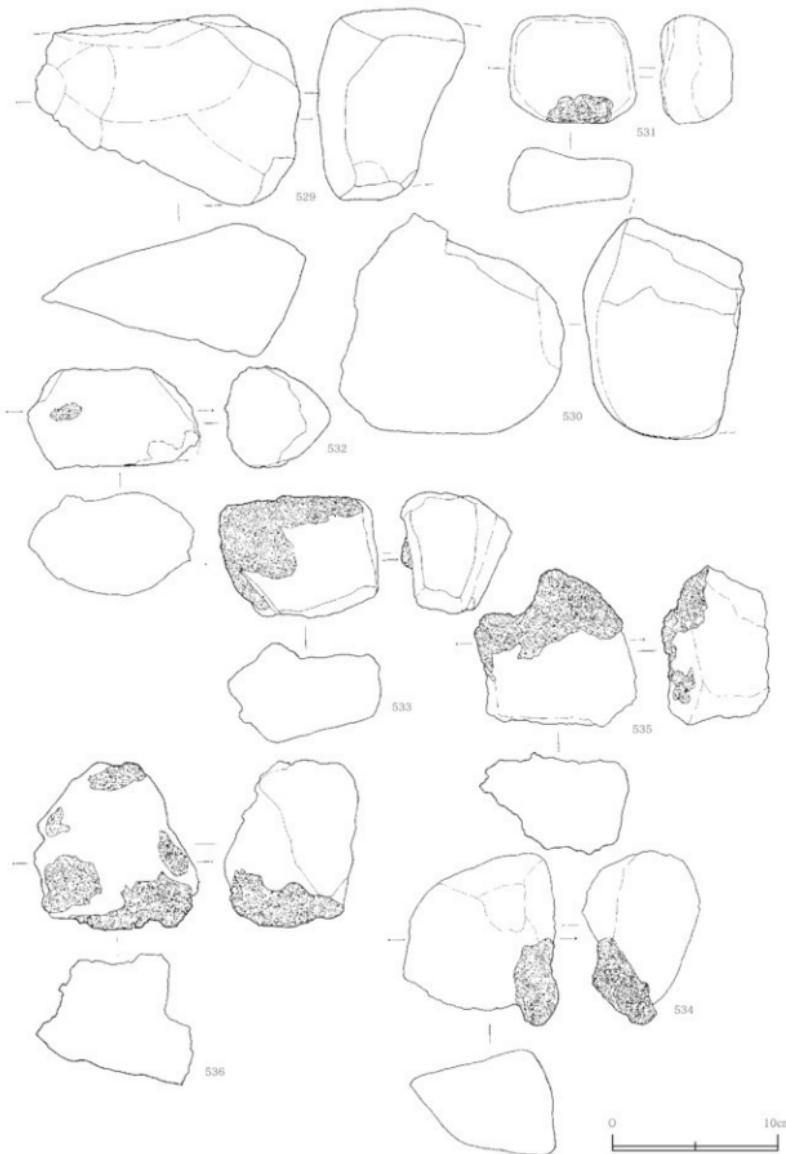
第153図 第2号排洋場出土遺構 (22)



第154図 第2号排溝場出土遺物（23）



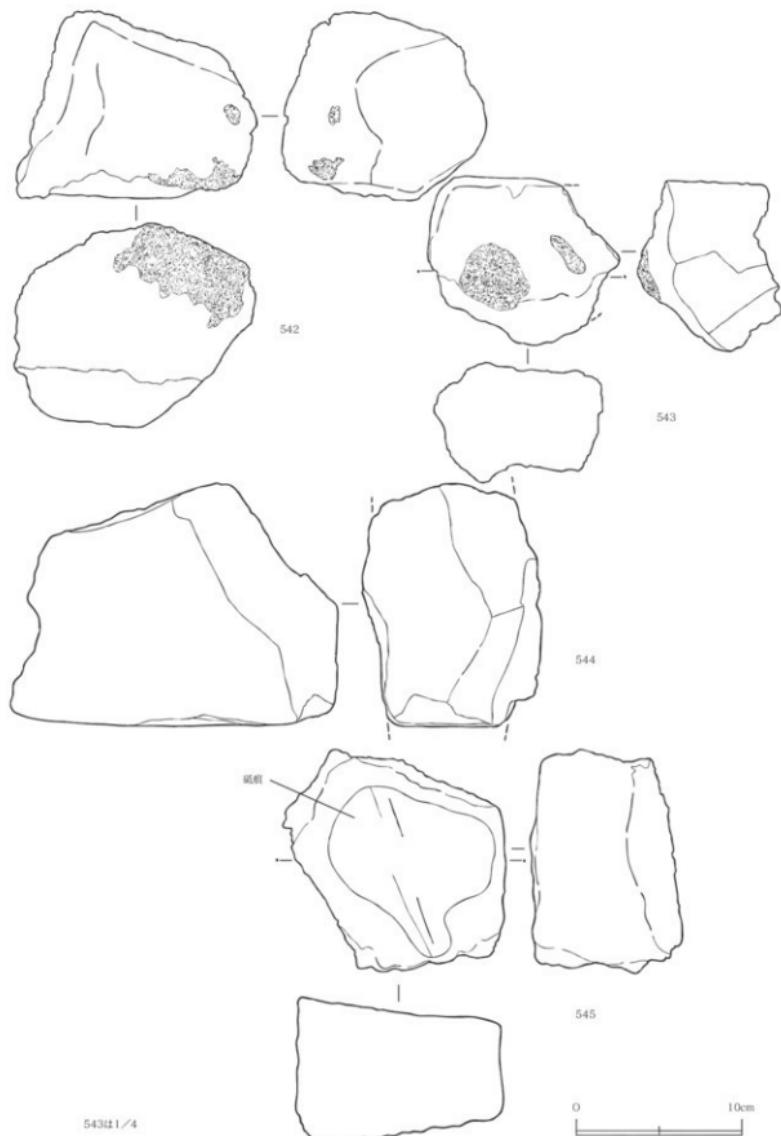
第155図 第2号排溝場出土遺物 (24)



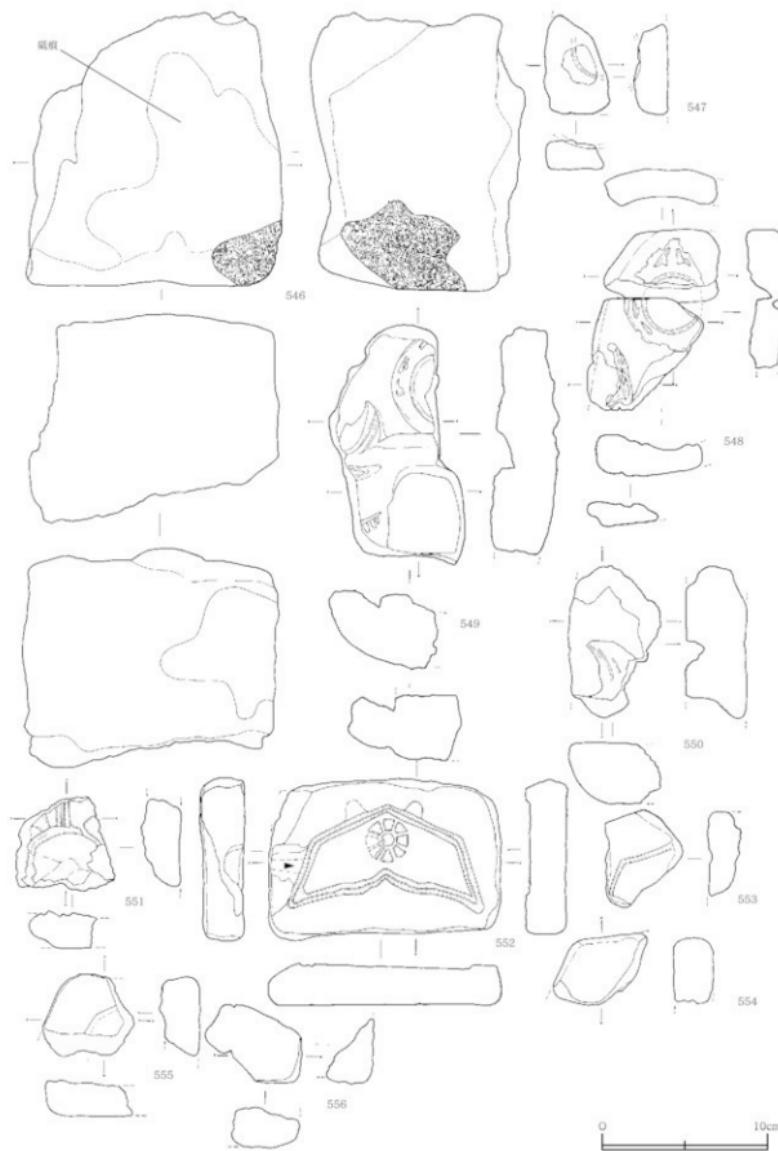
第156図 第2号排溝場出土遺物（25）



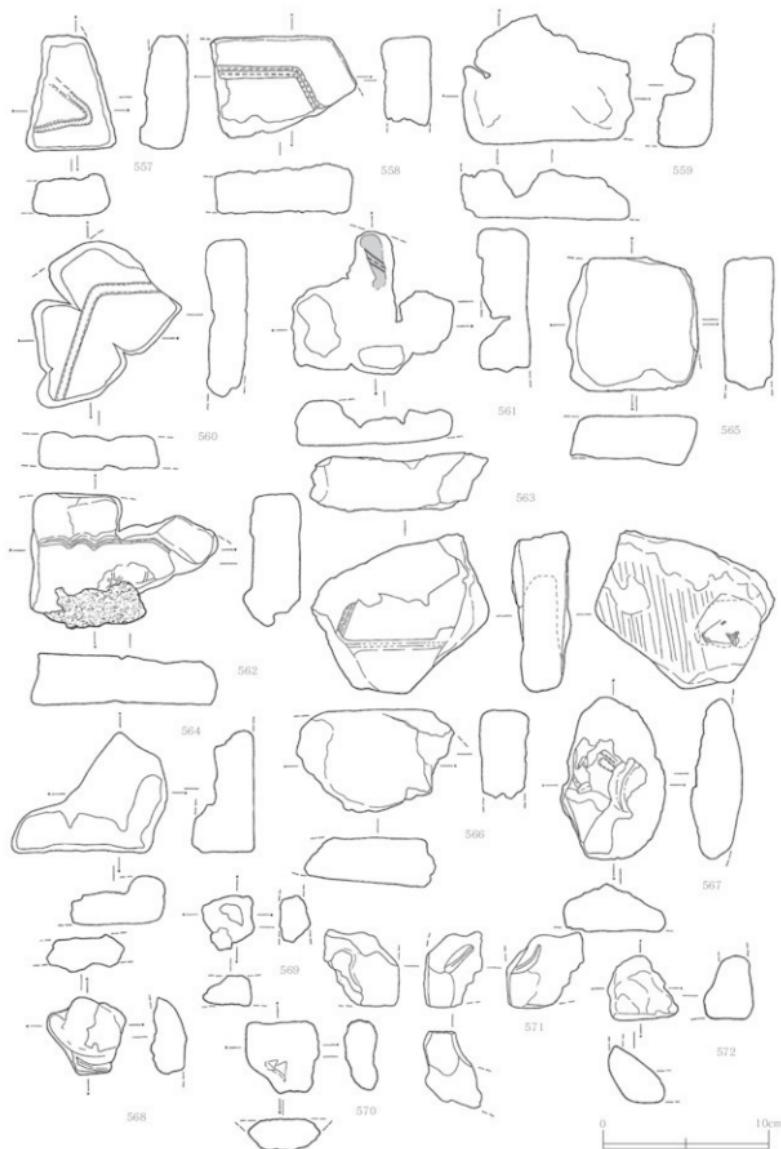
第157図 第2号排溝場出土遺物（26）



第158図 第2号排溝場出土遺物 (27)



第159図 第2号排溝場出土遺物 (28)



第160図 第2号排溝場出土遺物（29）